

ホーチミン日本商工会議所

メコンの風

Mekong no Kaze



2025年度活動報告

2025年4月～2026年3月

表紙の言葉

2025年度、ベトナムは行政体制の抜本的改革を経て、新生ホーチミン市が誕生しました。旧ビンズン省・旧バリアブントウ省との統合により国内GDPの約24%を占める巨大経済圏となった同市では、9月より国際金融センター(IFC)構想が始動。外資への市場開放や国際基準の導入で、グローバルな金融ハブへの転換が進んでいます。変革の時を迎えた「今のベトナム」は、アジアをリードする国際メガシティへ向け、力強く歩みを進めています。



【 発行者 】 ホーチミン日本商工会議所(JCCH)
 【 2025年度会頭 】 久米 邦英
 【 制作 】 JCCH広報委員会
 【 表紙写真 】 中村 正樹(2024年度JCCH広報委員長)
 【 デザイン 】 田中 可奈子
 【 発行日 】 2026年4月

会頭ご挨拶	2
在ホーチミン日本国総領事ご挨拶	3
JETROホーチミン事務所所長ご挨拶	3
特集 仕事をラクに楽しくするAI活用のススメ	4
2025年度第32回総会	12
活動報告	
①事業・生活環境の改善	13
②日本人社会への協力	16
③ベトナム社会への貢献と交流促進	19
④学び	21
⑤協力と交流	24
委員会別活動報告	27
部会別活動報告	33
データでみるJCCH	38
JCCHニュースフラッシュ	40
事務局主要活動実績表	42
役員・委員一覧	50
部会理事一覧	53



ホーチミン日本商工会議所
会頭 久米 邦英

ご挨拶

深化と行動で切り拓く この1年を振り返って

JCCHの会頭として経験したこの1年を振り返り、まずは会員の皆様の多大なるご協力に心より感謝申し上げます。就任当初は不慣れな点もありましたが、皆様と共に歩む中で、ベトナムが目指す方向と、その中で日本企業の立ち位置を改めて整理できた、非常に密度の濃い1年となりました。

今、ベトナムは凄まじい勢いで変革を遂げています。2025年のGDP成長率8%達成に続き、1月の党大会では今後5年間10%という高い目標を掲げました。単なる「輸出加工の拠点」から脱却し、地場産業の育成や国産化に注力する姿、そしてデジタル、AI、イノベーションといった先進分野へ大胆に舵を切るスピード感には、大きなメッセージを感じます。

もはやベトナム経済は、タイの20年遅れと見ていたかつての姿ではなく、タイやインドネシアと肩を並べ、特に今後5年はこれまでの常識をブレイクスルーするという「自信」が感じられます。

こうした事業環境の変化の中で、私たちJCCHも広がりだけでなく、活動の「深化」を追求してまいりました。事務局体制の充実を図るとともに、各委員会・部会では一歩踏み込んだ活動を展開しました。

象徴的なのはホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルです。皆様の粘り強い

働きかけにより、7年ほど停滞していた案件が前進するなど、対話の質は確実に深まっています。

また、日本人学校の増築完了により1,000名規模の受け入れが可能となったこと、初の試みである日系企業同士のビジネス商談会の開催、社会貢献活動や運動会でのベトナムの方々との交流など、会員間の連携強化においても確かな足跡を残すことができました。

一方で、ベトナムにおける日本のプレゼンスが相対的に低下しているという、厳しい現実からも目を背けられません。円安や投資環境の変化がある中で、私たちは今一度、ベトナム側の意図を深く理解し、その成長戦略に寄り添う「特定主義的」なアプローチを求められています。

ベトナムと日本は大乗仏教や儒教といった多数の共通の価値観を持つ、互いに欠かせないパートナーです。また、日本が人口減少に直面する中で高い技術力を提供するなどして、互いに助け合う未来の市場を創れると信じています。

次の1年もJCCHは会員の皆様とともに、この信頼の絆をさらに深く、力強く行動へと変えていく所存です。引き続きのご支援と積極的なご参画をお願い申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。



在ホーチミン日本国総領事館
総領事 小野 益央

ご挨拶

経済成長の加速化を目指すベトナム 南部地域全体のバランスのとれた経済発展に期待

2025年、ベトナム経済は、トー・ラム書記長の下でさまざまな改革を行う中、実質GDP成長率約8%という高成長を記録しました。2026年も、1月の第14回全国党大会で再選されたトー・ラム書記長の下、新たな指導体制が確立されつつあり、引き続き「2045年までの先進高所得国入り」という目標に向け、経済成長を一層加速化させる政策をとっていくことと思います。

ベトナム南部地域においても、2024年末に開業したホーチミンメトロ1号線に続き、メトロ2号線の着工、ロンタイン空港関連のインフラ整備等が進められています。

私は、南部地域においては、都市部の商工業のみならず、メコン・デルタや中部高原など地域の特性を活かした農水産業や加工業の発展、そしてそれらを支える運輸インフラの強化も地域全体のバランスのとれた経済発展には不可欠と考えます。

また、ベトナム南部でも、近年ベトナムが重視している、サプライチェーンの強靱化やGX・DX推進、高度人材育成、イノベーション促進をはじめ、さまざまな分野で引き続き日本企業・機関の高い技術やノウハウが寄与できる余地は大きく、総領事館としてもJCCHをはじめ日本側関係機関と緊密に連携し、日越両国の協力強化に貢献していきたいと思えます。

2024年、2025年と、多くの日系企業が当地進出30周年を迎えられました。私は、日越の歴史的絆の深さを改めて実感するとともに、1990年代初頭、対越ODA再開に尽力された渡辺美智雄元副総理兼外務大臣の「ベトナムは30年後に日本を救う国になる」との言葉が現実のものとなりつつあることに深い感慨を覚えます。

2026年も共に変化をとらえ、持続可能で活力ある日越関係を築いていきましょう。



JETRO ホーチミン事務所
所長 岡部 光利

ご挨拶

省・市再編を受け動き出す年 的確かつ迅速な活動に期待

2025年のベトナムは、さまざまな動きがありました。中でも、今後の国の発展に向けた4本の共産党政治局決議や、中央省庁ならびに省・市の再編といった歴史的とも言える行政改革がそれらの例に挙げられると思います。特に、同年7月に開始された省・市再編は地場・外資に関わらず企業の活動や人々の生活に大きな影響を及ぼしたものと思います。

また、経済に目を向けると、法制度関係では投資法施行規則や外国人労働者に関する政令など各種法規制の変更が発生したほか、通商関係では米国相互関税に関する対応など、ビジネス面でも大きな変化がありました。

このように国内外の情勢が急速に変化する中、JCCHにおかれましては積極的にさまざまな活動を実施されました。ビジネス面ではホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルの開催、各種セミナーを通じた情報提供、第三国商工会議所との

ビジネスマッチングなどを通じて会員企業の皆様のビジネス環境の改善・機会の創出に取り組みされました。

また、生活・社会・スポーツ文化・日本人学校運営の面においても多岐にわたる活動を実施され、日本とベトナムの絆の深化・拡大に貢献されました。

2026年1月に第14回共産党大会が開催され、トー・ラム書記長の続投が決定しました。今後、2045年の先進国入りに向け経済成長を含めた各種政策や改革が実行されていくと考えます。

また、ここホーチミン市を中心とする南部地域においても2025年の省・市再編を踏まえ、2026年は統合のメリット・効果を発揮するべく各種政策が動き出す年になると思います。

JCCHにおかれましては、このような中央ならびに各省・市の動きを的確かつ迅速に捉えながら、2026年も会員企業の皆様のさらなる発展に向け、益々躍動されることを祈念しております。

仕事をラクに楽しくするAI活用のススメ

— 初心者に寄り添うAI入門 —

近年、AI(人工知能)は一部のIT企業や専門家だけのものではなく、私たち一般のビジネスパーソンにとっても身近な存在になりました。「AIと聞くと構えてしまう」、「自分の仕事には関係なさそう」と感じている方もいますが……違うんです。この記事はAI初心者の方、特にベトナムで働く日系企業の駐在員を想定した、「知る」と「気軽に使う」を目的とした入門書です。

AIとは……「身近な仕事道具」です

AIって何者ですか？ 毎日の仕事に使える相棒

AIとは、人間の知的作業をコンピューターが補助・代替する技術と言えます。現在広く使われているAIは、過去の膨大なデータを学習し、「次に来る言葉」、「適切な回答」、「それらしい文章」を予測して生成します。重要なのは、AIが「考えている」わけではなく、人間の思考を支援するツールだという点です。

ビジネスの現場では、文章の作成、会議メモの要約、企画書や資料の作成、翻訳、情報収集など、時間を取られがちな業務でAIが活躍しています。特にベトナム勤務では、日本語と英語やベトナム

語が行き来する場面が多く、言語の壁を下げる道具としての価値が非常に高いです。

現在、世界的に利用されている主要なAIツールには以下があります。

いずれも専門知識は不要で、「日本語で指示を書く」だけで使えます。

正しく使えばきちんと便利 AIと人との良い関係作り

AIは便利ですが、万能ではありません。誤った情報をもっともらしく出すこともあるため、重要な判断に使う際は必ず人間が確認する必要があります。また、生成された文章や画像は、サービスごとに利用条件や商用可否が異なる

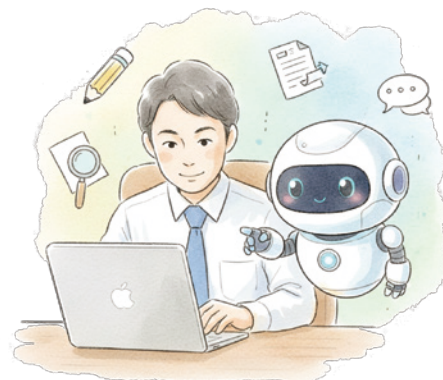
ため注意が必要です。

さらに、社内情報や顧客データなどの機密情報、金融分野や健康などの個人情報をもそのまま入力することは避け、伏せ字や抽象化をしましょう。

加えて、「AIに任せすぎない」姿勢も大切です。最終判断や責任は人間にあり、AIは考える相棒として使うことで、初めて価値を発揮します。

AIは敵でも魔法でもなく、正しく使えば仕事をラクにし、余裕と創造性を取り戻してくれる道具です。しかも、世界で人気のAIツールの多くには日本語版があり、制限はあっても無料で十分に活用できます。まずは一步、触ってみることから始めてみましょう。

AIツール	特徴
ChatGPT(OpenAI)	対話型AIの代表格。文章作成、アイデア出しに強い。
Gemini(Google)	検索や情報整理との相性が良い。
Copilot(Microsoft)	WordやExcelなどMicrosoft製品と連携。
Claude(Anthropic)	長文読解や丁寧な文章生成が得意。
Perplexity(Perplexity AI)	出典を重視した調査や裏取り向け。



「どれを選ぶか」より「どう使うか」の時代へ

進化が早すぎるAI技術 初心者は気にしなくていい

AIの世界は、ここ1~2年で驚くほどのスピードで進化しています。ChatGPTやGeminiをはじめ主要なツールは頻繁にアップデートを繰り返して、「あと一步、これができるばいいのに」と感じていた機能の実装が珍しくありません。

そのため、「情報が追いつかない」、「何をを使えばいいかわからない」と感じている方も多いでしょうが、AI初心者の立場からすれば、そこまで神経質になる必要はありません。

主要なAIツールが進化していくことで、文章作成、翻訳、要約、資料作成、画像生成といった基本機能には大きな差がなくなってきました。どのAIも一定水準以上の性能を持っており、この

AIでなければ仕事にならないという状況は減っています。ユーザーには非常に良い変化だと思います。

もうひとつ、最近のAIの大きな特徴が「マルチモーダル化」です。これは、文字、画像、音声など異なる種類のデータを同時に扱えるAIのことで、画像を見せて説明を求めたり、音声データを文字起こしたりといった使い方が可能になります。

こうした総合型AIを1つ使えば、多くの業務をカバーできるようになってきました。いくつかのツールを組み合わせることで最適解を出すような苦労はせず、メジャーなマルチモーダルAIだけを使えば済む時代になりそうです。

AIは相性で選ぶ時代 役割分担が成果を生む

AI選びで大切なのは、「評判」や「最新機能」よりも自分の仕事に合うかどうかです。文章を書くことが多い人、調べ物が多い人、資料作成が中心の人では、使いやすいAIは異なります。

実際にいくつかを試し、「日本語が自然」、「操作が簡単」、「使っていてストレスが少ない」と感じ



るものを選べば十分です。

例えばPC上で複数のAIのブラウザを並べて、同じ仕事を頼んでみると、結果の差がわかって比較ができます。もちろん、使用するAIを1つに絞らず、用途別に使い分けるのも現実的な選択です。

一方、AIが普及し、進化するに従って、人間に求められる役割も変わってきました。単純な作業や情報整理はAIが担い、人間は「何を目的とするのか」、「その結果をどう判断するのか」といった部分に集中するようになります。これについては一番最後の「AI時代に残る『7つの人間力』」で詳述します。

AIは我々から仕事を奪う存在ではなく、仕事のやり方を変える存在です。変化を恐れるより、上手につき合うことで、私たちはより本質的な仕事に時間を使えるようになるでしょう。



AI活用事例 ①

AIを感情フィルターにして正確な指示を出す

イラッとしたらAIで一呼吸
自然な日本語で指示を出す

海外で働いていると、仕事上のさまざまなコミュニケーションなどでストレスを感じる場面もあります。「何度言っても伝わらない」、「なぜ同じミスを繰り返すのか」と、つい感情的になってしまうことも。しかし、感情のままに書いた指示ほど、相手に誤解や反発を生みやすいものです。ここで活躍するのが、AIを「感情フィルター」として使う方法です。

怒りや苛立ちを感じた状態で書いた日本語は、たとえ正論でも、相手を責める表現になりがちです。そのままベトナム語や英語に翻訳してしまうと、語調がさらに強くなり、パワハラと受け取られるリスクも高まります。AIに一度文章を通すと、自分の気持ちも落ち着きますし、冷静で建設的な指示に変換できます。

幸いなことに今、AIにはプロンプトではなく自然な日本語で指示が出せます。

AI用に「プロンプト」という指示や命令のフォーマットがあり、それを組み合わせた活用で最適な回答が得られていました。

しかし、現在のAIは自然な日本語を十分に理解します。ポイントは、曖昧さを減らし、目的を明確に書くことです。正確な日本語で指示できれば、翻訳精度も自然と高まります。

感情を持たないAIを使って
冷静で効果的な業務連絡に

気持ちが高ぶったらあえて、「相手を追い詰めない」や「再発防止を促す」といった条件を伝えることで、感情を排したビジネス文書を簡単に作れます。これは単なる言い換えではなく、問題点、期待、次の行動を整理した文章になるため、相手にとっても理解しやすいのです。

さらに一歩進むと、AIに「自分らしい文体」を学習させることも可能です。過去のメールや文書を参考に読み込ませることで、「いつもの自分らしい言い回し」を

保ったまま、感情だけを取り除いた文章が作れます。また、何度もAIを使っていくことで、AIがあなたの仕事や個性を読み取るようにもなります。

AIは感情を持たないからこそ、感情を整えるための道具として非常に優秀です。怒りを抑えるためではなく「正確に伝えるため」に使う。この意識を持つだけで、海外拠点でのコミュニケーションは格段にラクになるはずですよ。



具体例で見る「Good」な例



Bad

感情のままAIに
指示を丸投げする

「何度も同じミスをする部下に対して、きつめに注意する文章を書いて」

AIの出力結果

「このミスは何度も指摘しています。いい加減にしてください。次に同じことが起きたら問題になります」

→ 指示が曖昧なため、AIも強い口調の文章を生成してしまいます。



Good

目的と条件を明確に指示する

「同じミスを繰り返しているスタッフに対し、感情的にならず、相手を追い詰めない日本語で、原因確認と再発防止を促す文章を書いてください。パワハラと受け取られない表現にしてください」

AIの出力結果

「今回の件について確認させてください。以前お伝えした点と同じ内容でのミスが見受けられました。作業手順で分かりにくい点があれば、遠慮なく相談してください。今後同じことが起きないように、一緒に改善策を考えていきましょう」

→ 同じ注意でも、受け取り方は大きく変わります。

AI活用事例 ②

山のような書類の要点を解読させる

ベトナム語書類にひるまない
要点だけ抜き出すAI活用

ベトナムで働いていると、ベトナム語や英語で書かれた書類、通知、請求書、契約書などに接します。英語はまだしもベトナム語は翻訳ソフトが必要ですし、すべてを丁寧に読み込もうとすると、時間と集中力が奪われてしまいます。こうした場面でAIを使うと、「読む作業」から一気に解放されます。

AIは翻訳だけでなく、「要点だけを抜き出す」作業が得意です。ベトナム語の文章やファイルをそのまま貼り付け、「日本語で要点を3つにまとめて」などと指示するだけで、その全体像を短時間で把握できます。細部を読む前に全体像をつかめるため、集中して読むべき書類か否かの仕分けも可能になります。

最近のAIは画像も理解できます。請求書や行政からの通達をスマートフォンで撮影し、AIに読み取らせることで、「支払

期限」、「金額」、「対応が必要な事項」だけを抜き出せます。全文を読む必要がなくなり、見落とし防止にもつながります。

契約書はAIで下ごしらえ
壁打ちで仕上げる資料作成

契約書の最終判断は必ず人間が行う必要がありますが、AIは「事前チェック役」として非常に優秀です。「不利になりそうな条件」、「過去の契約内容との違い」、「自社方針と合致していない点」を洗い出せるので、読む際の視点が明確になります。専門家に見せる前の整理役として使うのも効果的です。

プレゼン資料や報告書の作成では、AIに一度で完璧なものを求めるよりも、何度かやり取りを重ねる方がよい結果が出ます。例えば、最初は粗く要約させ、次に

表現を整え、最後に抜け漏れを確認する。こうした「壁打ち作業」がAIと人間の役割分担と言えます。

AIは「全部読む代わり」ではなく、「読む前の整理役」として使うと真価を発揮します。山のような書類からAIに必要な情報だけを取り出す。それだけで、日々の業務負担は大きく軽減されるでしょう。



具体例で見る「Good」な例



Bad

目的を伝えないで
大雑把に指示する

「このベトナム語の書類を日本語にしてください」

AIの出力結果

全文を直訳した長文が表示されて、重要な点がわからない。

→ 翻訳はされるが、
業務判断には使いにくい。



Good

目的を明確かつ
具体的に指示する

「このベトナム語の書類を日本語で要約してください。特に支払期限、金額、こちらが対応すべき事項を箇条書きで整理してください」

AIの出力結果

支払期限:〇月〇日、金額:〇〇VND、対応事項:期限までに送金が必要など。

→ 必要な情報だけを瞬時に把握できる。

AI活用事例 ③

文化ギャップの相談役として使う

それ、ベトナムの常識？
まずAIに相談してみる

海外で働く上で最も難しいのは、言語よりも文化や価値観の違いです。ベトナムでは当たり前でも、日本人の感覚では判断に迷う場面が数多くあります。こうした「人に聞きにくい」、「正解が1つではない」テーマこそ、AIが力を発揮する分野です。

AIは、文化や慣習についての一般的な知識を持っています。「この対応は失礼に当たらないか」、「どう受け取られる可能性があるか」といった質問を投げることで、判断の補佐役として使えます。最終判断は人間ですが、何も知らずに決断するより、視点を増やせてリスクを減らせます。

例えば、従業員の妊娠や産休、親族の不幸、金銭感覚の違いなどは、対応を誤ると信頼関係に影響します。AIに「一般的な考え方」や「注意すべき点」を整理さ

せることで、感情論ではなく冷静な対応方針を考える材料が得られます。人に直接聞く前の準備として非常に有効です。

軽いジョークでスピーチを
若者の流行もAIでチェック

忘年会や社員旅行などの場では、場の空気を和らげるスピーチが求められます。AIに「ベトナム人が笑いやすい軽いジョークを入れて」と条件を付けることで、文化的に無難で親しみやすい原稿を作成できます。自分でゼロから考える必要はありません。

また、若者文化や流行のキャッチアップにも使えます。人気のYouTuberやSNSの話題などもAIに質問すれば概要を把握できますし、すべてを理解しなくても、スタッフとの距離感は大きく縮ま

ります。ベトナム語の発音もAIに尋ねて、こっそり練習してはいかがでしょうか。

AIは文化の「正解」を教える存在ではありません。しかし、考えるための視点を増やしてくれる相談相手にはなります。文化ギャップに悩んだとき、一人で抱え込まず、まずAIに聞いてみる。それだけで判断の質は確実に上がります。



具体例で見る「Good」な例



Bad

曖昧で答えにくい
質問で尋ねる

「ベトナム人ってどういう考え方ですか？」

AIの出力結果

一般論が多くなって実務に使いにくく、具体的な判断材料が得られない。

→ 質問の幅が広すぎると、
答えもぼやける。



Good

状況を具体的に伝えた
質問にする

「ベトナム人スタッフが親戚の葬儀で数日休みたいと言っています。日本人管理職として、配慮すべき点や避けたほうがよい対応を教えてください」

AIの出力結果

親族行事を重視する文化的背景、柔軟な対応が信頼関係につながる点、避けるべき発言例、具体的な対応方法などが提示される。

→ 実務判断のヒントとして十分に使える。

AI活用事例 ④

日本本社の指示・報告を期待通りに仕上げる

本社向け文書は「堅く」整形
言い訳にならない気配りも

ベトナム拠点で働く駐在員にとって、日本本社とのやり取りは重要である一方、負担も大きい業務です。現場は常に動いているのに、本社向けには「堅く」て「整理された」文書が求められます。この温度差とスピード差を埋める役割として、AIは非常に相性の良い道具です。

現場での箇条書きメモやスマホの音声入力は、そのままでは本社に出せません。AIにそれらをまとめて渡し、「役員会提出用の報告書として整えて」と指示することで、論点が整理されたビジネス文書に変換できます。文章を一から書き直す必要はありません。

少し細かくなりますが、本社への報告では「言い訳」に聞こえない表現が重要です。AIに「日本側が理解しやすい表現に」や「現地事情を簡潔に補足」といった条件を加えることで、感情的な摩擦を避け

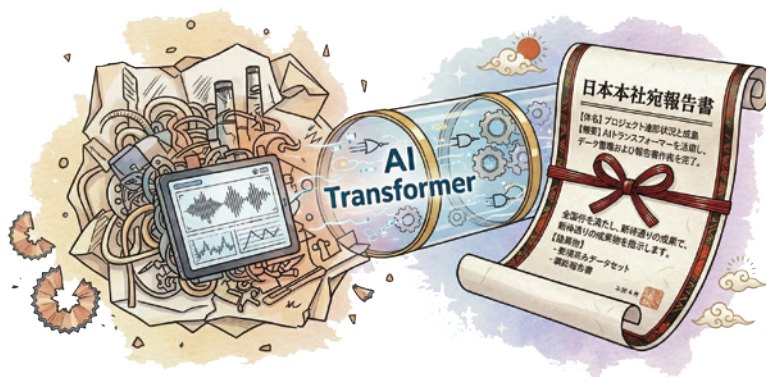
た文章を作れます。経験の浅い方ほど効果を感じやすいでしょう。

長文、PDF、デザイン資料
翻訳者として真価を発揮

本社から届く長文メールやPDF資料にもAIを活用できます。こうした資料には背景説明や一般論が多く含まれがちです。ので、「現地責任者として対応すべきアクションだけを整理して」などと頼めば、実務に直結するタスク一覧を短時間で作れます。読み落としや解釈ミスの防止にもなります。

図表、写真、イラストなどが入った本社からのデザイン資料は、レイアウトを崩さずに翻訳したい場面が多くあります。AIを使えば、文章部分だけをベトナム語に翻訳できるため、スタッフとの共有が進みます。多少の調整は必要かもしれませんが、全部作り直す手間を省きつつ、情報の伝達精度を高められます。

AIは「文章を書く機械」ではなく、立場の違う相手同士をつなぐ翻訳者として使うと真価を発揮します。当地と本社の間にAIを立たせれば、業務スピードと精神的余裕は大きく変わるはずで



具体例で見る「Good」な例

Bad 具体的でなく
大雑把な指示をする

「このメモを本社向けの報告書にしてください」

AIの出力結果

情報は整理されていても、語調や粒度が本社向けとして不十分。

→ 誰に向けた文書かが不明確。

Good 相手と目的を
明確に指示する

「この現場メモと音声ファイルを合わせて、日本本社の役員向け報告書として整えてください。結論を先に書き、現地特有の事情は簡潔に補足してください。感情的な表現は避けてください」

AIの出力結果

結論→理由→今後の対応の構成となって日本側が判断しやすくなる。余計な感情表現がない。

→ そのまま提出できる完成度になる。

AI活用事例 ⑤

仕事じゃないけど、こんなことにも使ってみよう！

これまで「仕事のツール」として紹介してきましたが、実はプライベートで気軽に使うことがAI活用に慣れる近道です。ここでは、ベトナム生活の中で使うと確実に楽しくて実用的な3つを紹介します。



1 余興の「社歌」をすぐに作詞・作曲

忘年会や周年行事の余興は、実は準備する側にとって大きな負担になりがちです。音楽生成AIを使えば歌詞、メロディ、歌声まで含めた「オリジナル社歌」を一瞬で作れます。会社名や理念、スタッフの名前などをキーワードで入れれば場が盛り上がりますよ！ 何パターンか作っても良いですね。

具体例で見る「Good」

「忘年会で流す30秒の社歌を作って。メロディは演歌調、歌詞は少しユーモアがあり、ベトナムと日本の絆を感じられる内容にして。歌詞のサビの部分に、〇〇物産、営業部バンザイ、グエンさん、を入れてください」

AIの出力結果

日本風の曲調で、社名や部署名、人気者の名前が周囲の親近感を呼ぶ。短くて聞きやすい。

→ あなたはヒーロー or ヒロインです！

2 見知らぬ食品の「食べ方」を質問

ベトナムのスーパーには日本では見かけない食材や調味料が多く並んでいます。「どう使えば良いかわからない」と放置するのはもったいないと思いませんか？ 写真を撮ってAIに聞くだけでどんな品物かわかりますし、日本人の口に合うレシピを指定すれば、料理にもチャレンジできますね。

具体例で見る「Good」

「この写真の食材の名前と簡単な特徴、加えて日本人の口に合いやすい調理法を3つ教えてください。料理は得意でないので、家庭で簡単に作れる方法をお願いします」

AIの出力結果

食材が何か解明できて、日本の料理に近いレシピなので失敗しにくい。

→ 食生活の満足度が一気に上がります。

3 健康診断や薬の説明を理解する

海外での医療は不安が付きものです。しかも、健康診断の結果や薬局で渡される薬の説明文はベトナム語かつ専門用語で、わかりません……。AIに翻訳させると同時に、「日本と比較して説明して」と頼めば、安心材料の整理役になってくれます。ただし、AIは医療の判断を代替するものではありません。

具体例で見る「Good」

「これは薬の説明文です。日本で良く使われる同種類の薬と比較しながら、目的や正しい使い方、注意点をわかりやすく説明してください。最終的な判断は医師に従います」

AIの出力結果

用途と副作用の整理され、日本の薬との違いが明確になり、医師に質問すべき点もわかる。

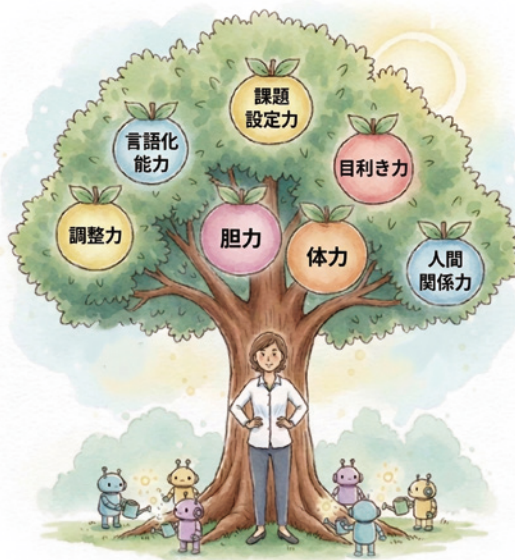
→ 不安が減り、冷静に判断できます。

AI時代に残る「7つの人間力」 人間にしかできない泥臭いスキルが際立つ

AIを使うほど、「人間の仕事は減っていくのではないかと不安を感じる方がいるかもしれません。しかし現実には、AIが業務を肩代わりするほど、人間に求められる役割はより明確になっています。それは、きれいな理論ではなく、現場で判断し、調整し、責任を負うという泥臭い力です。

1 課題設定力

AIは与えられた問いには答えられますが、「何が問題か」を自ら見つけることはできません。売上不振なのか、人材配置なのか、取引先との関係なのか。どこにメスを入れるべきかを定義する力は、今後ますます重要になります。



2 言語化能力

AIを使いこなす鍵は、専門知識よりも日本語で正確に伝える力です。曖昧な指示は曖昧な結果を生みます。相手がAIであっても、「何を」、「どこまで」、「どんな目的で」求めているのかを言葉にできる人が成果を出します。

3 目利き力

AIは結果を大量に出しますが、「それが使えるかどうか」を判断するのは人間です。数字や文章を鵜呑みにせず、「現場で本当に通用するか」を見極めるセンス。これは経験と失敗からしか身につけません。

4 調整力

現場、本社、他部署、外部パートナー……立場や利害が異なる関係者をつなぎ、全体最適を考える力はAIには代替できません。海外拠点では予算や工程など管理する幅も広がるため、調整力はより求められます。

5 人間関係力

ロジックが正しくても、特にベトナム人は感情を優先する傾向があります。信頼関係、根回し、雑談の積み重ね。こうした非効率に見える行動が、最終的に大きな成果を生みます。AIには真似できない人間の価値です。

6 胆力

AIが作った資料や判断案を「これで行く」と決断し、事業に活かすのは人間です。結果がどうであれ、これにより生じる責任を引き受ける覚悟がある人にしか、AIは真の武器にはなりません。

7 体力

AIで業務効率が上がると、判断や責任の総量は逆に増えます。長時間働く体力というより、安定して考え続けるための体力が大切です。睡眠、食事、運動といった基本が、これまで以上に重要になります。

AIは人間に置き換わる存在ではなく、人間のタスクを補う存在です。だからこそ、最後に価値を持つのは、現場で考え、決定し、責任を取れる人間力です。

最初にお伝えしましたようにAIのアップデートは非常に頻繁です。ここまでの情報が既に古くなっているかもしれません。それでも、この特集記事がAIを使いこなす一歩になれば幸いです。

2025年度 第32回定期総会 2025年4月25日

2025年度のホーチミン日本商工会議所の活動は4月25日(金)に行われた総会で始まりました。冒頭、小野益央総領事からご挨拶をいただいた後、2024年度会頭の埜崎孝雄氏より同年度の活動報告が行われました。2025年度会頭の選任も行われ、久米邦英氏が就任しました。なお、本総会はベトナム解放記念日記念式典のリハーサル実施に伴う大規模な交通規制により、オンライン形式での開催となりました。



▲ コロナ禍ぶりのオンライン開催



▲ 2024年度会頭の埜崎孝雄氏



▲ 2025年度会頭の久米邦英氏

<2025年度活動目標> 日越絆の深化で、共に未来を創る

JCCHの歩み	
1993年	ホーチミン市で活動する日本企業の団体として「ホーチミン日本人友好倶楽部」が発足。
1994年	組織の拡大に伴い、名称を「ホーチミン日本商工会」に変更。英文表記は「Japanese Commerce and Industry of Ho Chi Minh City」(通称:JCIA)。会員社数は69社。初代会長は広岡正夫氏(三井物産)。
1997年	ホーチミン日本商工会立ホーチミン日本人学校を設立。この年からチャリティバザーを毎年開催(～2014年度)。売り上げをベトナムの医療機関へ寄付。
1998年	5月、英文名称を「The Japanese Business Association of Ho Chi Minh City」(通称:JBAH)に変更。9月28日、ホーチミン市人民委員会から正式団体として認可を受ける。事業および生活環境の改善を目的とするホーチミン市人民委員会との「ラウンドテーブル」を開始。
2002年	この年から「ラウンドテーブル」を毎年開催。
2011年	会員企業数500社を突破。
2015年	児童福祉施設への訪問・支援を開始。
2018年	4月、名称を「ホーチミン日本商工会議所」に変更。英文名称はThe Japanese Chamber of Commerce and Industry in Ho Chi Minh City(通称:JCCH)。会員企業数 1,000社を突破。
2021年	新型コロナウイルス第4波の影響で、数か月におよぶ社会隔離政策が実施され、役員会、委員会、部会、セミナー、講演会など、オンラインを中心とする実施体制へ。
2022年	新型コロナウイルスの収束により徐々に対面による実地体制に移行。

*社名、肩書は当時のもの。

JCCH歴代会頭一覧			
代目	年度	氏名	所属
初	1994	広岡 正夫	三井物産
2	1995～1997	伊東 淳一	日商岩井
3	1998	大北 裕之	住友商事
4	1999	岩間 憲道	三井物産
5	2000	山崎 末次	三菱商事
6	2001	浅田 弘一郎	住友商事
7	2002	今津 康雄	三菱東京UFJ 銀行
8	2003	会川 精司	日商岩井
9	2004	松林 勝	三菱商事
10	2005	脇 郁晴	双日
11	2006	石田 泰	丸紅
12	2007	中川 卓男	三菱東京UFJ 銀行
13		深山 隆	味の素
14	2008	大西 範和	住友商事
15	2009	小須田 森仁	双日
16	2010	柏木 利夫	三菱商事
17	2011	那須 泰孝	みずほコーポレート銀行
18	2012	森 光廣	ビナキョウエイスチール
19	2013	山口 貴美雄	双日
20	2014	百石 洋人	三菱商事
21	2015	坂上 勉	丸紅
22	2016	前野 浩二	JFE スチール
23	2017～2018	門脇 恵一	三菱商事
24	2019～2020	岡田 英之	TMI 総合法律事務所
25	2021～2023	水嶋 恒三	双日
26	2024	埜崎 孝雄	三菱UFJ銀行
27	2025	久米 邦英	三菱商事

*社名は当時のもの。

活動
報告

Theme

1

事業・生活環境の改善
ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル

事業環境および生活環境の改善を目的として、ホーチミン市人民委員会と毎年開催しているラウンドテーブルは1998年の開始から24回目を迎えました。このプロジェクトは半年ほどの期間をかけて、JCCH会員企業の皆様が日頃抱える事業・生活環境上の課題について、ホーチミン市人民委員会に対して改善要望を行う場となります。

2025年度は7月に会員企業に対してアンケート調査を行ったところ、各分野における意見・要望が99項目集まりました（法務労務：29項目、税務通関：34項目、生活環境：36項目）。これらを担当委員会で協議して23項目に絞り込み、2024年度までの要望のうち追跡調査を実施した7項目の結果を取りまとめ、9月に要望書を提出しました。その後、一つ一つの項目に対してJCCHとホーチミン市人民委員会の担当者が、具体的な解決策を検討していくため実務者レベルでの話し合いを重ね、本会議が12月12日行われました。

ラウンドテーブルキックオフミーティング（2025年6月20日）

JCCHからは中川幹久副会頭兼事業環境委員長、南良勉労務委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、高見尚代生活環境委員長と上田真也事務局長が出席しました。



プレラウンドテーブル（2025年11月19日、20日）

ラウンドテーブル本番に向けて、実務者レベルの会合であるプレラウンドテーブルが開催されました。本会合は、ホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）にて法務・労務、税務、通関、生活環境の4チームに分かれて議論を行いました。



ラウンドテーブル本会議（2025年12月12日）

ホーチミン市からはドゥオック人民委員長、ハー副委員長ならびにホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）のルーセンター長ら主要部局の幹部が出席し、日本側は小野益央総領事、JCCHからは久米邦英会頭、岡部光利副会頭、および各ワーキングチームリーダーを務めた中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、高見尚代生活環境委員長、小熊俊弘監事、ピンズン部会の長戸隆彦部会長と上田真也事務局長らが出席しました。

当日の協議では、「土地使用権証明書未発給の問題」、「VAT還付」、「事務所閉鎖時に発生する税務問題」、「ガソリン車規制」などについて、活発な意見交換が行われ、問題解決に向けた議論が進められました。



ラウンドテーブルフィードバックセミナー（2026年1月23日）

ラウンドテーブルで取り上げられた改善要望について当局との議論結果を報告するとともに、日越共同イニシアティブ・ワーキングチーム5の取り組みの一環として、ベトナム競争法における経済集中規制の概要および実務上の留意点について解説が行われました。



2025年度ラウンドテーブル開催までの経過

6月中旬～ 7月下旬	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのキックオフミーティング(6月20日)。 JCCH会員企業に本ラウンドテーブルに向けた要望を募集。その結果99項目の要望が集まった。
7月～9月	事業環境委員会、労務委員会、税務・通関委員会、生活環境委員会にて99項目の要望を23項目に絞り込んだ。
9月	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)との懇親会(30日)。
9月	ホーチミン市側に当該23項目の要望書および2024年の部局の回答に関するフィードバック7項目を提出(17日～24日)。
11月	事業環境委員会(法務・労務チーム、通関チーム、税務チーム、生活環境チーム)がホーチミン市側とプレラウンドテーブルを開催(19日、20日の計4セッション)。
11月	プレラウンドテーブル後、各要望についての評価を実施し、ホーチミン市側に評価コメントを提出。 新規の23項目に関する評価:16項目について「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」。 2024年度の要望で追跡調査をした7項目に関する評価:4項目について「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」。
12月	ラウンドテーブル本会議(12日)
1月	ラウンドテーブルフィードバックセミナー(23日)

活動報告

Theme

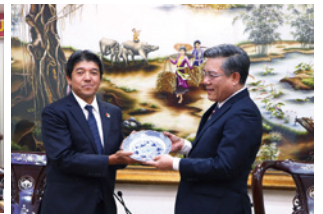
1

事業・生活環境の改善 ホーチミン市および周辺省との連携

2025年度役員による各省人民委員会表敬訪問

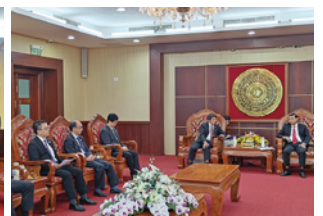
ドンナイ省人民委員会 ユン副委員長表敬訪問 (2025年5月13日)

JCCHからは久米邦英会頭をはじめ、岩本英久副会頭兼渉外担当兼広報委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、ドンナイ部会の小谷昇司部会長、太田真志理事、越本勇一理事らが出席し、ドンナイ省人民委員会からはユン副委員長、人民委員会事務局、商工局、財務局、工業団地管理委員会の幹部などが出席しました。



バリアンタウ省人民委員会 トー委員長表敬訪問 (2025年5月22日)

JCCHからは久米邦英会頭をはじめ、松本暢之副会頭、唐澤雅幸組織・規約委員長、バリアンタウ部会の橋本泰助部会長、津田清昭副部会長が出席し、バリアンタウ省人民委員会からはトー委員長その他、商工局、税務局、財務局、工業団地管理委員会、ジャパンデスクの幹部などが出席しました。



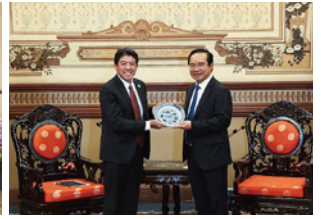
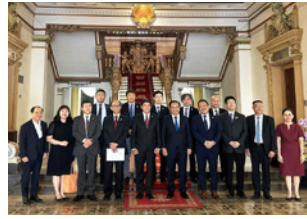
ロンアン省人民委員会 ソン副委員長表敬訪問 (2025年5月23日)

JCCHからは久米邦英会頭をはじめ、松本暢之副会頭、岩本英久副会頭兼渉外担当兼広報委員長、ロンアン部会の畑中周部会長、中隈弘副部会長が出席し、ロンアン省人民委員会からはソン副委員長、商工局、財務局、工業団地管理委員会の幹部などが出席しました。



ホーチミン市人民委員会 ドウオック委員長表敬訪問 (2025年5月29日)

JCCHからは久米邦英会頭をはじめ、松本暢之副会頭、中川幹久副会頭兼事業環境委員長、岩本英久副会頭兼渉外担当兼広報委員長、唐澤雅幸組織・規約委員長、南良勉労務委員長、大木直伸日本入学校運営委員長、ホーチミン市部会の西隈隆部会長が出席し、ホーチミン市人民委員会からはドウオック委員長の他、外務局、貿易投資促進センター(ITPC)の幹部などが出席しました。



ビンズン省人民委員会 チー副委員長表敬訪問 (2025年5月30日)

JCCHからは久米邦英会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、唐澤雅幸組織・規約委員長、大木直伸日本入学校運営委員長、ビンズン部会の長戸隆彦部会長、川口朋典理事、高嶋昭史理事が出席し、ビンズン省人民委員会からはチー副委員長の他、商工局、外務局の幹部などが出席しました。



地域の枠を超えた連携

バリアブントウ省高校生・大学生を対象とした日本との友好交流会への出席、奨学金の贈呈 (2025年6月10日)

JCCHからはバリアブントウ部会の橋本泰助部会長、津田清昭副部会長と上田真也事務局長、および会員企業の代表者が出席しました。当日は、大学生・短期大学生95名が日系企業の工場を見学するとともに、約350名の学生が交流イベントに参加しました。交流会では、伝統パフォーマンスの披露や茶道体験、日本留学体験談の紹介、支援策の説明などが行われました。JCCHからは、社会貢献活動の一環として10名の学生に対して、各100万VNDの奨学金を贈呈しました。



活動
報告Theme
2日本人社会への協力
日本人学校の運営

ベトナム南部唯一の日本人学校であるホーチミン日本人学校は1997年にホーチミン日本商工会(当時)によって設立されました。現在も引き続き、JCCHが子どもの教育になくてはならない日本人学校の運営を同校と連携しながら行っています。

入学式 (2025年4月9日)

2025年度は小学部82名、中学部66名、計148名の新入生を迎えました。JCCHからは久米邦英会頭らが出席し、新入生たちに門出を祝う言葉を贈りました。

**ホーチミンミュージックフェスティバル** (2025年6月15日)

「一心響音(いっしんきょうおん)～響け心のハーモニー～」をテーマに、各学年が約1か月間一生懸命に練習し、本番ではステージで素晴らしい合唱や合奏を披露しました。

**運動会** (2025年9月28日)

スローガンは「走って笑って本気になれ！全力青春運動会！」。当日は晴天に恵まれ、小学部では1・2年生、3・4年生、5・6年生と中学部がそれぞれ徒競走や団体競技、表現活動を行いました。

**増築新校舎竣工式** (2025年12月19日)

JCCHから久米邦英会頭、大木直伸日本人学校運営委員長、運営委員らが出席しました。新たに竣工した校舎は、児童・生徒数の増加に伴い増築が決定し、2025年3月に起工式を行いました。建設には17,000人ももの職人が従事しました。

**卒業証書授与式** (2026年3月9日)

在校生や保護者の方々に見守られる中、小学部6年生85名、中学部3年生31名が卒業を迎えました。JCCHからは久米邦英会頭、大木直伸日本人学校運営委員長、上田真也事務局長らが出席しました。卒業生の皆さんには、自分の夢を大切にし、その実現に向けてこれからも積極的に挑戦を続けてほしいと願っています。



活動
報告

Theme

2

日本人社会への協力
在越在留邦人の生活のため

ベトナムでは在住日本人を支援する日本人会が存在しておらず、JCCHがそれに代わる役割を担っています。JCCHは日本人学校の運営、スポーツ・文化に関する各種交流イベントの実施、情報提供などを行っています。

JCCH運動会2025 (2025年10月12日)

JCCHスポーツ・文化委員会主催の「JCCH運動会2025」が開催され、93社3,380名が参加しました。開会式では久米邦英会長と砂金智之スポーツ・文化委員長の挨拶の後、全員で恒例の準備体操を行いました。2025年度は新競技として「障害物リレー」を実施し、その中で「風船割り」や「パン食い競争」といった日本の運動会らしい要素も取り入れられ、会場は大きな歓声に包まれました。

【種目優勝企業一覧】

- 大縄跳び : ワタベウェディングベトナム様
- 玉入れ : 大塚テクノベトナム様
- 綱引き : ワタベウェディングベトナム様
- 障害物リレー : クラフテックベトナム様
- リレー : セッツカートンベトナム様



▲ 毎年恒例の準備体操



▲ 体育館で行われたバドミントンも大盛況

【各競技 優勝・準優勝企業一覧】

- バドミントン
 - 1位 : CAPICHI VIETNAM様
 - 2位 : 双日ベトナム様
- フットサル
 - 1位 : 古河オートモーティブパーツ様
 - 2位 : サフェックストレージ様



▲ 白熱のリレー対決



▲ チームワークが試される綱引き

【ご協賛企業様】

- エースコックベトナム様
- ハウスフーズベトナム様
- インターフード様
- 松屋様
- 森永ニュートリショナルフーズベトナム様
- 大塚ニュートラシューティカルベトナム様
- ベトナム大正様



▲ 各社一丸となって競い合う



▲ エースコックベトナム様が協賛ブースを出店

【医療支援を頂いた企業様】

- G-COM様

【運営協力を頂いた団体様】

- ホーチミン7バドミントンクラブ様(バドミントン)
- アドバンスFC様(フットサル)



▲ 準備・運営を行ったスポーツ・文化委員会



▲ フットサルで優勝した古河オートモーティブパーツ様

JCCHドッジボール大会2025 (2025年12月7日)

スポーツ・文化委員会主催の「JCCHドッジボール大会2025」が初めて開催され、4社32名が参加しました。本大会は、2024年度まで実施されていたJCCH懇親ゴルフ大会に代わる新たな交流イベントとして、会員企業社員の子ども(小学生)を対象に開催されたものです。当日は日本人・ベトナム人の子どもたちが参加し、国境を越えた交流を深める機会となりました。

【ご協賛企業様】

- クレハベトナム様

【医療支援を頂いた企業様】

- ファミリーメディカルプラクティス様



▲ 日越の子どもたち32名が参加したドッジボール大会



▲ 国境を越えた交流と絆

2026年JCCH新年会 (2026年1月13日)

ホテルニッコーサイゴンにてJCCHスポーツ・文化委員会主催「2026年JCCH新年会」を開催し、553名の会員およびご家族の皆様が参加しました。

2025年度の新年会では、日本を代表する特撮ヒーロー「ウルトラマン」のステージショーと写真撮影会を初めて実施し、子どもたちを中心に会場は大いに盛り上がりました。また、会場内には会員企業がベトナムで展開する多彩な商品が並びました。

【食材・ドリンクの協賛企業様(協賛品)】

- 双日ベトナム様 (牛肉、ワイン)
- KAMEI VIETNAM様 (ワイン)
- サッポロベトナム様 (ビール)
- サントリーペプシコベトナムベラレッジ様 (お茶、フルーツティー)
- インターフード様 (お茶、フルーツティー)
- 伊藤園ベトナム様 (お茶)

【PRブース出展企業(協賛品)】

- ベトナム日清製粉様 (パスタ麺、パスタソース、炊き込みご飯の素)
- MORINAGA LE MAY VIETNAM様 (プレーン味およびストロベリー味の脂肪ゼロドリンクヨーグルト)
- エスファイブサイゴン様 (Vietnam Coffee Cake)
- エースコックベトナム様 (ハオハオプレミアムカップ麺、ミニドラえもんカップ麺、カレーハウスCoCo壱番屋カップ麺)



▲ ウルトラマンのステージショー



▲ PRブースでは食品関連企業がサンプル商品を配布



▲ 在越外国商工会議所の方々も参加



▲ 会場では活発な交流が行われた

第11回ジャパン ベトナム フェスティバル/JVF(日本語カラオケ大会、日越友好平和ぼんおどり大会) (2026年3月7日)

初開催の日本語カラオケ大会は、会員企業6社からベトナム人・日本人社員が出場し、創意工夫を凝らした衣装や振付とともに日本の楽曲を披露しました。いずれのパフォーマンスも大変素晴らしく、会場は温かい拍手と感動に包まれました。

【出演企業・披露曲】

- 三菱UFJ銀行様
「未来へ」(Kiroro)
- ソリマチベトナム様
「DADDY! DADDY! DO!」(鈴木雅之 feat. 鈴木愛理)
- 大塚テクノベトナム様
「365日の紙飛行機」(AKB48)
- エースコックベトナム様
「あとひとつ」(FUNKY MONKEY BABYS)
- JETROホーチミン事務所様
「夢をかなえてドラえもん」(大山のぶ代版テーマ曲)
- ベトナムNOK様
「いい日旅立ち」(山口百恵)



▲ お揃いの衣装で美声を披露



▲ ドラえもんのおープニング曲を披露



▲ 久米邦英会頭の力強い掛け声で開幕



▲ 会場は熱気に包まれた

日越友好平和ぼんおどり大会は、恒例の「日越友好囃子」や「日越平和音頭」に加え、子ども向けの「子供盆おどり唄」も披露されました。会員企業のご家族やベトナムの学生の皆様など多くの方々に参加し、日本の伝統行事である「ぼんおどり」を国境を越えて共に楽しむ機会となりました。

活動
報告Theme
3ベトナム社会への貢献と交流促進
ベトナム社会との共存共栄を目指して

私たちが事業活動を行い、生活しているベトナム社会への感謝の気持ちを込めて、社会貢献活動を行うことはJCCHの重要な取り組みの一つです。2025年度も、環境問題への取り組み、子ども支援、日本語交流を目的として、引き続き活発に活動を行いました。ベトナム社会の持続可能な未来を目指し、会員企業からいただいた年会費の一部を、ベトナム社会への貢献活動に活用しました。

清掃プロジェクト (2025年8月9日、9月7日、12月14日、2026年3月1日)

ベトナムにおける環境問題への取り組みとして2019年に始まり、毎回多くの会員企業の社員やそのご家族が参加する人気のイベントです。2025年度は4回開催され(そのうち1回が雨天による中止)、延べ481名が参加しました。特に、ベトナム人スタッフとご家族の参加が多く、活気に満ちた活動となりました。



▲ 大人から子どもまで積極的に参加



▲ 第3弾ロンディエンビーチでの集合写真

【開催場所・参加者数】

- | | | |
|-------|--------------------|-----------------|
| 【第1弾】 | ザーディン公園 | 参加者173名 |
| 【第2弾】 | ホーチミン日本人学校周辺 | 参加者150名 雨天による中止 |
| 【第3弾】 | バリアブンタウ省 ロンディエンビーチ | 参加者157名 |
| 【第4弾】 | ラムドン省 タンハイビーチ | 参加者151名 |

子ども支援プロジェクト (2025年10月4日、10月23日、11月29日、12月20日、2026年1月10日)

学業の機会が限られている子どもたちや身寄りのない子どもたちに対し、支援を行うことでベトナム社会への貢献を目指しています。また、将来を担う子どもたちに必要な支援を提供するとともに、日本への関心を持ってもらうことも目的としています。2025年度は会員企業やJCCI社会貢献・人材育成委員会と連携し、5つの施設に対して計5回の物資提供をはじめとする支援を行いました。また、施設訪問の際には、子どもたちと日本文化の体験や交流も行いました。

【支援先の施設・支援内容】

- | | |
|--|---|
| 【第1弾】 | Thien Phuoc 社会福祉施設 |
| ● | 日本航空様：インスタント春雨、離乳食粉末、おむつ、現金 |
| ● | JCCH：インスタント春雨、インスタントラーメン、グラニュー糖、氷砂糖、洗濯洗剤、柔軟剤 |
| 【第2弾】 | Ame House 自閉症児ケア施設 |
| ● | JCCI：カフェ・調理関連機材、音楽・芸術活動関連機材 |
| ● | JCCH：シーソー、子ども用滑り台、けん玉、折り紙、竹とんぼ |
| 【第3弾】 | DON BOSCO Can Gio 社会福祉施設 |
| ● | JCCH：冷凍庫、洗濯機、扇風機、机、洗剤、柔軟剤、歯磨き粉、ボディソープ、インスタント麺、缶詰、牛乳 |
| 【第4弾】 | Binh Duong Volunteering Class 児童養護施設 |
| 11月2日に開催されたチャリティフリーマーケットで集まった寄付金を、Binh Duong Volunteering Class 児童養護施設に贈呈しました。 | |
| 【第5弾】 | Tam Binh 児童保護センター |
| ● | NICグローバルソーシング様：洗濯機 |
| ● | KONOIKE VINATRANS LOGISTICS様：インスタントラーメン、インスタント春雨 |
| ● | Panasonic Vietnam様：テレビ |
| ● | UACJ様：オムツ、粉ミルク、ティッシュペーパー |
| ● | エースコックベトナム様：インスタントラーメン、インスタント春雨 |
| ● | 全日本空輸様：食用油、砂糖 |
| ● | 長谷川様(個人支援)：粉ミルク |
| ● | JCCH：パラソル、牛乳、文房具 |



▲ 紙飛行機作りや福笑いで日本文化を体験



▲ 子どもたちと中秋節のダンスを楽しむ



▲ 白井勝彦社会貢献委員長とTam Binh児童保護センター長

チャリティフリーマーケット（2025年11月2日、2026年3月7日）

2025年度の新規事業として、リサイクル活動の推進、地域との交流促進、ならびに誰もが気軽に参加できる社会貢献の機会創出を目的に開催しました。また、出店者の皆様からお預かりした出店料は、地域の児童養護施設へ全額寄付しました。

【開催場所・出店数】

- 【第1弾】ピンズン新都市・SORA Gardens SC 13社・2個人が出店
- 【第2弾】ジャパン ベトナム フェスティバル(JVF)会場 8社・2個人が出店



▲ 第1弾はベカメックス東急様のご協力のもと開催された



▲ 多様な商品が並ぶ会場の様子

日本語サポートプロジェクト（2026年1月8日、1月31日、3月20日）

ベトナム人学生の方々に授業で学んだ日本語を実際に使用していただくことで、JCCHの活動や日本への留学、日系企業への就職等への関心を高めることを目的に2021年度から開催しています。

【開催場所・参加者数】

- 【第1弾】エースコックベトナム工場見学会・日本語交流会 参加者41名

レホンフォン高校で日本語を専門に学ぶ生徒を対象に、エースコックベトナムを訪問し、社員の方による会社説明や即席工場の見学を通じて、日本企業のものづくりや仕事への姿勢を学びました。プログラム後半の日本語交流会では、社会貢献委員とエースコック日本人社員の皆様も加わり、「新フレーバーを作ろう」をテーマに活発なディスカッションを実施。高校生たちは日本語で自分のアイデアを堂々と発表し、社員の方から直接コメントをもらう貴重な機会となりました。

- 【第2弾】ホーチミン市中学生スピーチコンテスト 参加者約300名

社会貢献委員会は、ホーチミン市教育訓練局主催の「中学生を対象とした日本語スピーチコンテスト」に毎年協力・協賛しています。今回のコンテストは、2025年7月の省・市再編に伴い参加校が増加し、前大会の約2倍となる19校(中学校相当5校、高校相当14校)が参加しました。審査の結果、個人賞50名および団体賞2校が選出されました。

- 【第3弾】ホーチミン市師範大学の学生との日本語交流会 参加者40名

本交流会は、日本語を学ぶベトナム人大学生に対し、日系企業との交流機会の提供を目的として開催されました。当日は会員企業8社が参加し、企業紹介やキャリアに関する意見交換を実施しました。学生からは、日本語を生かせる仕事や日系企業が求める人材についての質問が寄せられ、各企業が回答しました。



▲ ホーチミン市中学生スピーチコンテストで受賞した生徒たち



▲ エースコックベトナムでの日本語交流会

活動
報告

Theme

4

学び
事業に役立つ学び

JCCHでは各分野の専門家が講師として登壇する、会員対象の無料セミナーを定期的で開催しています。2025年度も税制と法律に関するセミナーから、快適で安全な暮らしのための生活情報まで、広範囲にわたるセミナーを実施しました。セミナー以外にも様々な学びの機会など、当地で事業や生活をされている会員企業向けに役に立つ情報を提供しています。

ベトナム労働法セミナー(基礎編) (2025年9月30日)

労務委員会主催にてウェブ形式で開催しました。当日は労務委員会所属の弁護士と企業委員が登壇し、事例を用いた解説や、各社対応事例についてなど、ベトナム労働法の基礎や最近発行された政令219号などの最新情報を解説いただきました。237名が参加しました。

委員長 : 南良 勉氏(ベトナム味の素)

講師 : 大矢 和秀弁護士

(西村あさひ法律事務所 ホーチミン事務所)

三木 康史弁護士

(アンダーソン・毛利・友常法律事務所 ホーチミンオフィス)

企業委員 : 今井 裕氏(サイゴンプレジョン)

川口 朋典氏(小田ベトナム)

里村 知則氏(ベトナムスペシャリティガス)

岸 政司人氏(三正工業ベトナム)

福宿 伸一郎氏(コーケンベトナム)

児玉 圭太氏(VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL)

久保田 孝幸氏(ベトナム味の素)



▲ 大矢和秀弁護士



▲ 三木康史弁護士



▲ 企業委員によるパネルディスカッション

ホーチミン市内務局が解説する！労働許可証に関するセミナー (2025年10月8日)

労務委員会主催にてハイブリッド形式で開催しました。セミナー当日は2025年8月7日施行のベトナム政令219/2025/NĐ-CP号における規制の変更点から実務的な手続きまで解説いただきました。事前申込では史上最高となる450名以上からお申込をいただきました。当日は約2時間半にわたり、参加者から多数の質問が挙がりました。



▲ 南良勉労務委員長の挨拶



▲ セミナー講演時の様子

日本の化学産業やASEAN及びベトナムの化学品規制に関する最新動向セミナー（2025年11月11日）

本セミナーはJCCH事業環境委員会が(一社)日本化学工業協会(日化協・JCIA)との共催により、ハイブリッド形式にて開催しました。化学業界における最新のトピックスや動向、ならびに国内外の化学品規制に関する情報について解説が行われました。当日は会場8名、オンライン62名の合計70名が参加しました。



【第1部】「日本国内化学工業動向、行政動向」
講 師：石井 浩氏(JCIA 常務理事)

▲ オンライン・オフラインを合わせて
当日は70名が参加

▲ 第1部の日本国内化学工業動向、
行政動向について

【第2部】「化学品管理の国際動向とASEAN・ベトナムの規制対応」
講 師：長谷川 貴通氏(JCIA 化学品管理部 部長)

【第3部】「RC活動」と「保安防災・労働安全に関するオンデマンド eラーニング」
講 師：森本 勉氏(JCIA レスポンシブル・ケア推進部 部長)

生活情報セミナー（2025年11月19日）

生活環境委員会主催にて開催しました。本セミナーは、ベトナムでの生活に役立つ情報をテーマに2部構成で実施され、29名が参加しました。

講演後の受講者アンケートでは、「VNeIDについてよく分かっていなかったところ、今後の展開も含め、現状の状況を理解することができた」や「テト旅行の計画に活かせる情報を得た」などの声が寄せられました。



▲ 高見尚代生活環境委員長の挨拶



▲ セミナー講演時の様子

委員長：高見 尚代氏(イオンディライトベトナム)

【第1部】「VNeIDの最新状況と、ベトナムの目指すIT化による生活への影響」
講 師：工藤 拓人氏(CastGlobal Law Vietnam)

【第2部】「旅のプロがおすすめするテト休暇前の旅行情報」
講 師：中川 靖之氏(旅工房ベトナム)

第2回ベトナム労働法セミナー（2026年2月4日）

労務委員会主催にてウェブ形式で開催しました。ウェブ形式で開催しました。「100万人のベトナム調査結果から考える、企業にとって大切な福利厚生とその具体例」をテーマにベトナムで日系企業がリアルに直面している賃金周りのお悩み事例を共有しながら、その原因と対策の方向性をライブで解説いただきました。参加者からは、「実例を聞くことができて大変参考になった」、「実務に特化しており非常に良かった」など、ご好評いただきました。



▲ 講師の守屋圭氏



▲ 当日は166名が参加

講 師：守屋 圭氏(ナビゴスグループ)

税務・通関委員会主催 税制セミナーシリーズを開催(全5回)

税務・通関委員会では毎年大好評の税制セミナーを2025年度も開催しました。全てウェブ開催とし、5つのテーマに分けて会員企業の関心の高い、税制の基礎や税務調査の最新動向について解説しました。参加者総数は657名にのぼり、2026年度の継続開催を希望する声も多数寄せられました。

第1回

- 日 時 : 2025年10月7日
- テーマ : 個人所得税制編
- 講師 : 仁科 仁氏 (GRANT THORNTON VIETNAM)
- 参加者数 : 148名



▲ 第1回講師の仁科仁氏

第2回

- 日 時 : 2025年11月12日
- テーマ : 移転価格税制編
- 講師 : 西川 貴陽氏 (EYベトナム)
- 参加者数 : 145名



▲ 第2回講師の西川貴陽氏

第3回

- 日 時 : 2025年12月2日
- テーマ : 付加価値税・外国契約者税編
- 講師 : 鶴田 明久氏 (AGS ACCOUNTING)
- 参加者数 : 104名



▲ 第3回講師の鶴田明久氏

第4回

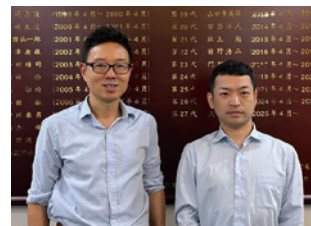
- 日 時 : 2026年1月20日
- テーマ : 法人税制編
- 講師 : 高田 真氏 (エスコンサルティングベトナム)
- 参加者数 : 116名



▲ 第4回講師の高田真氏

第5回

- 日 時 : 2026年2月3日
- テーマ : 税務調査編
- 講師 : 谷中 靖久氏、角田 長基氏 (KPMG)
- 参加者数 : 144名



▲ 第5回講師の谷中靖久氏と角田長基氏

活動
報告

Theme

5

協力と交流
国内外との積極的なネットワーク作り

JCCHでは部会の枠を超えて会員同士が交流できる機会を提供し、ベトナム国内外の団体との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいます。また、会員の皆様にとって有益な場となるよう、ネットワークの拡大と深化に努めています。

日米欧韓4会議所協議 (2025年5月13日、10月16日、12月10日、2026年3月10日)

本会議は2024年度より、日本、米国、欧州、韓国の在越商工会議所の連携促進を目指し、半年ごとに会頭レベルの会合を開催し、様々なテーマについて意見交換を行っています。世界的に注目を集めている米国の関税問題や、ベトナムにおける食品安全法の改正動向等について取り上げ、各会議所における課題認識や今後の対応案等について議論を行いました。



▲ 日本、米国、欧州、韓国の在越商工会議所の代表者が出席



▲ 第1回開催の集合写真

新規赴任者交流会 (2025年6月25日、2026年2月4日)

企業交流委員会の主催により、2025年度は2回開催しました。参加者の中には来越後1か月以内の方もおり、新たな環境への不安を抱える中、同様の境遇の方々との交流を通じて「ベトナム赴任同期」としてのネットワークが広がりました。

参加者からは「同年代の方と知り合えて良かった」や「ベトナムでの生活が楽しみになった」など、新しい出会いを楽しむ声が寄せられました。

【開催場所・参加人数】

第1回：The River Oriental 81名(2025年2月～赴任者対象)

第2回：ホテルニッコーサイゴン 70名(2025年6月～赴任者対象)



▲ 久米邦英会頭による乾杯発声



▲ ホテルニッコーサイゴンでは広々としたガーデン会場で開催

新規入会企業とJCCH役員・理事との交流会 (2025年7月17日、2026年2月26日)

企業交流委員会の主催により、2025年度は2回開催しました。このイベントは、新入会員と理事・役員との親睦を深め、入会后にJCCH活動に積極的に参加してもらうことを目的に毎年開催されています。新規入会企業の紹介の時間が設けられ、各社の商品やサービスが紹介されました。

【参加した新規入会企業数】

第1回：18社(2025年2月～6月に入会)

第2回：16社(2025年7月～2026年1月に入会)



▲ 加賀本崇至企業交流委員長の挨拶



▲ ステージ上での各社の紹介

ASEAN事務総長とのASEAN日本商工会議所連合会(FJCCIA)との対話会合 (2025年7月29日)

インドネシア・ジャカルタのASEAN本部で開催された本会合に久米邦英会頭、岡部光利副会頭、上田真也事務局長が出席しました。本対話会合は、ASEAN各地の日系企業が直面しているビジネス上の課題や改善点をASEAN事務総長に直接伝える場として、2008年から毎年開催されています。

2025年度は、「1. 強靱なサプライチェーン」、「2. グリーン経済とサステナビリティ」、「3. デジタル経済とイノベーション、新興技術」、「4. 包摂的なASEAN」という4つの観点から、提案・要望を行いました。



▲ ASEAN加盟9か国・10都市にある日本商工会議所の代表者が出席



▲ 参加者による集合写真

ふらっとJCCH（2025年9月23日、2026年3月4日）

企業交流委員会の主催により、2025年度はPizza 4'Ps ハイパーチェーン店にて2回開催しました。本イベントは、「ふらっと、気軽に立ち寄れる交流の場」をテーマに、2017年度より毎年実施しています。部会や業種、世代を超えた会員同士の交流の機会として、好評を得ています。

【参加者数】

第1回：127名

第2回：140名



▲ 長い間親しまれている会員交流の場



▲ 会場に並んだ色鮮やかなPizza 4P'sの料理

在越台湾商工会(CTCVN)・ドイツ商工会(GBA)会員企業との商談会・交流会（2025年10月15日）

本イベントは2024年度の初の試みである「在越台湾商工会会員企業との交流イベント」に続き、2025年度はドイツ商工会(GBA)も交えて、3商工会共催のイベントとなりました。今回は「機械・自動車・化学製造業」分野をメインテーマに、ドイツから11社、台湾から7社、日本から7社が会場内にブースを展開し、計60名が参加しました。



▲ 日台企業による交流の様子



▲ 各社紹介の時間も設けられた

日本式経営研修参加ベトナム企業とJCCH会員企業とのビジネス交流会（2025年10月17日）

企業交流委員会およびJICAが支援するベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)の共催により開催しました。

本交流会は2024年に続き2回目の開催となり、日系企業とベトナム企業のネットワーク構築やビジネス連携の機会の創出を目的に開催されました。製造業、建設業など様々な業種のベトナム企業22社と日系企業16社が参加しました。



▲ 各社のブースでの活発な交流・名刺交換



▲ JCCHとVJCC代表者による集合写真

広州・深圳視察団（2025年10月23日～25日）

事業環境委員会は海外視察団を実施し、広州・深圳を訪問しました。久米邦英会頭、中川幹久副会頭兼事業環境委員長、岩本英久副会頭兼渉外担当兼広報委員長ら14名が参加しました。

本視察は、ベトナムにおけるデジタル化やEV(電気自動車・電動バイク)の普及が進む中、将来動向を見据えた取り組みの一環として実施されたものです。「中国のシリコンバレー」とも称される深圳を中心に、現地の主要企業や先進的な事業・サービスの視察を行いました。

【主な視察・体験先】

- JETRO広州事務所様
- BYD様(電気自動車の主力メーカー)
- テンセント様(大手テクノロジー企業)
- 無人運転タクシー体験
- ドローン配送・無人コンビニなどのスマートサービス視察



▲ 「中国のシリコンバレー」深圳の企業を訪問



▲ 最先端技術を体感を訪問

フランス商工会(CCIFV)と共催 Beaujolais Nouveau and Sake 2025 (2025年11月20日)

JCCHとフランス商工会(CCIFV)の共催で、「Beaujolais Nouveau and Sake 2025」を在ホーチミンフランス総領事公邸にて開催しました。日本側からは、古館誠幾首席領事、久米邦英会頭、岩本英久副会頭兼渉外担当兼広報委員長をはじめ、執行役員・部会長など25名が参加、フランス側からは34名が参加しました。本イベントは、在ホーチミン日仏商工会議所間の交流促進を目的としており、今回で3回目の開催です。

参加者は、解禁日を迎えたばかりのボジョレーヌーボーや日本酒を楽しみながら、両国の親睦を深める貴重な機会となりました。



▲ 乾杯の様子



▲ 多くの参加者が集まり、華やかな雰囲気の中での交流

- スポンサー : RBA様、Hong Ngoc Ha Travel様、Mai House様
- フード : 花美様、Eurial様、Mediterra Bar & Restaurant様
- ワイン : カメイ様、Warehouse様
- デザート / モクテル / ジュース: Bellany様、Marou様、Vergers du Mekong様

ドンナイ省と共催 日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会 (2025年11月21日)

JCCHとドンナイ省人民委員会の共催により、ザ ミラ セントラル パーク ホテルで開催しました。本イベントは、機械製造業を中心とした日系企業の現地調達率向上や、現地企業との商談機会の創出を目的として行われました。2025年度は過去最高となる日系企業41社、ベトナム企業59社が参加しました。

参加者からは、「商談できた企業数は想定を大きく上回った」や「今回の商談会はこれまでで最も規模が大きく、丁寧に運営されていると感じた」など、前向きな声が多数寄せられました。



▲ 2025年度で9回目の開催



▲ 当日の様子は日越双方のメディアが紹介

日本政策金融公庫と共催 ホーチミン日系企業ビジネス商談会 (2026年1月29日)

本イベントは日本政策金融公庫との共催により、初めて開催しました。ベトナムに進出する日系企業同士のビジネス交流促進および新規取引創出を目的として実施したもので、当日はバイヤー33社、サプライヤー67社、計100社が参加しました。

本イベントは製造業、商社および関連企業を中心に、大手メーカーなどが「バイヤー」としてブース出展し、「サプライヤー」企業との事前マッチング制による商談形式で実施し、参加企業は、自社ニーズに即した相手先と効率的に商談を行い、活発な意見交換が行われました。



▲ 開催後アンケートでは、90%以上が「役に立った」と回答



▲ 来賓者による集合写真

委員会別活動報告

JCCHには、「事業環境改善」や「社会貢献」など、それぞれ異なるテーマを持つ10の実行委員会が活動しています。委員会は、委員長、1名以上の副委員長と複数の委員によって構成されており、JCCHの活動目的である事業及び生活環境の改善を促進するのがこれらの委員会です。委員会への参加は任意で、また所属部会に関係なく、各委員会の主旨と専門性に基づき組織されています。

事業環境委員会



委員長
中川 幹久
(長島・大野・常松法律事務所)

2025年度のホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルでは、会員企業から寄せられた99件の意見・要望を精査し、その中から23件を新たな要望として取りまとめ、同人民委員会と解決に向けた協議を行いました。本会合では、ドウオック委員長およびハー副委員長からも力強いご支援をいただき、多くの項目について前進が見られました。今後もホーチミン市当局との協力関係の強化に努めてまいります。

ラウンドテーブル

- 6月20日(金) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのラウンドテーブルに向けたキックオフミーティング
- 7月3日(木) 2025年度ラウンドテーブルに向けた要望案などのアンケート開始
- 9月17日(水) ラウンドテーブル要望書をホーチミン市人民委員会側へ提出(※一部は9月24日(水)にも提出)
- 9月30日(火) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)との懇親会
- 11月19日(水) プレラウンドテーブル(税務、通関チーム)
- 11月20日(木) プレラウンドテーブル(法務・労務チーム、生活環境チーム)
- 12月12日(金) ラウンドテーブル本番会議
- 1月23日(金) ラウンドテーブルフィードバックセミナー

主な活動

- 5月28日(水) 食品安全法の改正草案および政令(政令15/2018/ND-CP号)の改正草案の開示に対するJCCH要望書を提出
- 6月18日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 7月9日(水) 食品安全法の施行政令(政令15/2018/ND-CP号)を改正する政令の第8草案に対するJCCH要望書を提出
- 7月16日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 8月4日(月) 食品安全法改正第2草案に対するJCCH要望書を提出
- 8月21日(木) 食品安全法の施行政令(政令15/2018/ND-CP号)を改正する政令の第3草案に対するJCCH要望書を提出
- 9月9日(火) ベトナムで就労する外国人労働者に関する政令219号についてのホーチミン市内務局説明会
- 9月17日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 10月15日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 10月23日(木) 海外視察団(中国・深圳視察)
～25日(土)
- 11月11日(火) 一般社団法人 日本化学工業協会と共催
日本の化学産業およびASEAN・ベトナムの化学品規制に関する最新動向セミナー
- 11月19日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 11月20日(木) 内務省主催「日越社会保障協定策定に関する意見聴取セミナー」
- 11月21日(金) 投資リーガルフォーラム「ILS Forum 2025」
- 12月15日(月) 新土地法に関する国会決議に基づく土地使用料・賃貸料に関する政令改正案に対するJCCH要望書を提出
- 1月14日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 1月22日(木) 日越共同イニシアティブWT5活動
- 1月22日(木) 日本の公正取引委員会とベトナム競争委員会の勉強会(在ハノイ日本大使館)
- 2月11日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 2月13日(金) 食品安全法改正草案に関するポリシーに対するJCCH要望書を提出
- 3月18日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会

委員会会合

- 6月2日(月)、7月29日(火)、11月18日(火)、12月9日(火)、3月5日(木)

労務委員会



委員長
南良 勉
(ベトナム味の素)

労働法セミナーの開催や賃金実態調査報告書の発行、ラウンドテーブルを通じて、会員企業への情報提供および要望の取りまとめを行いました。2025年度は、改正された労働許可証関連政令に関するベトナム人スタッフ向けセミナーも開催し、実務的な情報提供に努めました。ラウンドテーブルでは、労務分野における諸課題や要望を整理し、行政への課題提言を実施しました。

ラウンドテーブル

- 事業環境委員会の項目をご参照ください。

主な活動

- 9月30日(火) 第1回ベトナム労働法セミナー(オンライン開催)
テーマ:「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」
講師: 西村あさひ法律事務所 大矢 和秀弁護士
アンダーソン・毛利・友常法律事務所 三木 康史弁護士
- 10月8日(水) JCCH労務委員会主催
「ホーチミン市内務局が解説する!労働許可証に関するセミナー」(ベトナム人スタッフ向け)
- 11月25日(火) 2025年度JCCH賃金実態調査報告書を発行
- 2月4日(水) 第2回ベトナム労働法セミナー(オンライン開催)
テーマ:「100万人のベトナム人調査結果から考える、企業にとって大切な福利厚生(Welfare Benefits)と具体例」
講師: ナビゴスグループ 守屋 圭氏

委員会会合

- 5月27日(火)、7月22日(火)、9月11日(木)、9月23日(火)、12月9日(火)、1月8日(木)、2月27日(金)

税務・通関委員会



委員長
小野瀬 貴久
(EYベトナム)

毎年度恒例の全5回の税制セミナーを開催し、多くの会員企業に参加いただきました。また、ホーチミン市に加え、周辺各省の税務局および税関局とも積極的に交流・意見交換を行いました。新化学品法および食品安全法の動向についても情報収集を行い、今後の動向を注視しました。

ラウンドテーブル

- 事業環境委員会の項目をご参照ください。

税制ウェビナー

- 10月7日(火) 個人所得税制編
講師: GRANT THORNTON VIETNAM 仁科 仁氏
- 11月12日(水) 移転価格税制編
講師: EYベトナム 西川 貴陽氏
- 12月2日(火) 付加価値税・外国契約者税編
講師: AGS ACCOUNTING 鶴田 明久氏
- 1月20日(火) 法人税制編
講師: エスコンサルティングベトナム 高田 真氏
- 2月3日(火) 税務調査編
講師: KPMG 谷中 靖久氏/角田 長基氏

その他活動

- 9月22日(月) 第2地区通関支局(旧ホーチミン税関局)と企業との対話集会
- 11月10日(月) Vietnam Business Forum 2025
- 11月20日(木) 日越社会保障協定策定に関する意見聴取セミナー
- 11月21日(金) ドンナイ省における日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会
- 11月24日(月) 公認会計士協会・千代田会懇親会
- 11月28日(金) 松下政経塾関連行事
- 1月15日(木) 2024年度納税優良企業表彰式(ドンナイ省税務署)
- 2月27日(金) 第2地区通関支局(旧ホーチミン税関局)

委員会会合

- 10月7日(火)、3月26日(木)

生活環境委員会



委員長
高見 尚代
(イオンティライトベトナム)

年々深刻化する都市部の大気汚染や交通渋滞は、ベトナムで生活する私たちにとって重要な環境課題です。2025年度は、これらの課題を踏まえ「今後の交通政策の方向性」をテーマにラウンドテーブルを実施しました。ドック委員長をはじめとする担当部局の責任者より、改善に向けた具体的な施策と推進体制が示されました。委員会としても担当部局との意見交換を通じて関係構築を図るとともに、改善状況の確認および追加要請を行いました。

ラウンドテーブル

- 事業環境委員会の項目をご参照ください。

主な活動

- 11月6日(木) 生活環境情報発信に関する打合せ(担当委員)
- 11月19日(水) 生活情報セミナー(ホテルニッコーサイゴン)
【第1部】
テーマ：「VNeIDの最新情報と、ベトナムの目指すIT化による生活への影響」
講師：CastGlobal Law Vietnam 工藤 拓人弁護士
【第2部】
テーマ：「旅のプロがおすすめる長期休暇前の旅行情報」
講師：旅工房ベトナム 中川 靖之氏
- 11月25日(火) ガソリン車規制に関する意見交換会(ラウンドテーブル要望事項関連)
- 12月26日(金) 生活環境情報発信(第1弾:年末年始版/メルマガ・Facebook)
①安全・防犯編：在ホーチミン日本国総領事館 佐藤 浩一領事
②健康管理編：ロータスクリニック 白井 拓史医師
- 2月11日(水) 生活環境情報発信(第2弾:テト前版/メルマガ・Facebook)
①安全・防犯編：在ホーチミン日本国総領事館 佐藤 浩一領事
②健康管理編：ロータスクリニック 白井 拓史医師

委員会会合

- 6月24日(火)、8月7日(木)、10月20日(月)、3月6日(金)

社会貢献委員会



委員長
白井 勝彦
(サッポロベトナム)

JCCHの活動方針の4つの中にある「日本人社会への協力」および「ベトナム社会への貢献」につき、当委員会では、今後の活動実績がJCCHまたは日系企業のプレゼンス向上につながるよう、「積み上げ」をテーマに社会貢献活動を実施しています。「清掃活動」、「子ども支援」、「日本語支援」にフォーカスした取り組みを行い、2025年度は「チャリティフリーマーケット」も開催し、新たな活動を実施しました。多くの活動において、会員の皆様にご協力・ご参加をいただきました。今後とも社会貢献活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

主な活動

【清掃活動】

- 8月9日(土) ザーディン公園(173名参加)
- 9月7日(日) ホーチミン日本人学校(150名参加予定も雨天中止)
- 12月14日(日) バリアブントウ省 ロンディエンビーチ(157名参加)
- 3月1日(日) ラムドン省 タンハイビーチ(151名参加)

【子ども支援】

- 10月4日(土) Thien Phuoc社会福祉施設支援(日本航空と協働)
- 10月23日(木) 自閉症児ケア施設 Ame House支援(JCCIと協働)
- 11月29日(土) DON BOSCO Can Gio社会福祉施設支援
- 12月20日(土) Binh Duong Volunteering Class児童養護施設へ寄付金贈呈
※11月に行われたチャリティフリーマーケットの寄付金を贈呈
- 1月10日(土) Tam Binh児童保護センター支援

【日本語支援】

- 5月17日(土) 人文社会科学大学日本学部30周年式典出席
- 6月10日(火) バリアブントウ青少年センター(友好交流会にて奨学金贈呈)
- 1月8日(木) エースコックベトナム工場見学会・日本語交流会
- 1月31日(土) 中高生日本語スピーチコンテスト(レフォンフォン高校)
- 3月20日(金) 日系企業と大学生とのキャリア交流会(ホーチミン市師範大学)

【新規活動】

- 11月2日(日) 第1回チャリティフリーマーケット(ビンズン新都市 SORA gardens SC/13社・2個人が出店)
- 3月7日(土) 第2回チャリティフリーマーケット(ジャパンベトナムフェスティバル会場/8社・1個人が出店)

【その他(講義対応)】

- 9月22日(月) ホーチミン日本人学校5年生を対象に社会貢献活動講義(日本人学校)
- 9月25日(木) 第一サービス、第二サービス、金融・保険の3部合同部会にて社会貢献活動講義(ルネッサンスリバーサイドホテル)
- 3月12日(木) 建設部会にて社会貢献活動講義(ホテルニッコウサイゴン)

委員会会合

- 5月7日(水)、6月17日(火)、7月22日(火)、9月16日(火)、12月16日(火)、1月20日(火)、3月17日(火)
各チーム(清掃活動、子ども支援、日本語支援、新規活動)ごとに個別ミーティングを多数実施。

スポーツ・文化委員会



委員長
砂金 智之
(双日ベトナム)

2025年度は、JCCH会員向けの主要イベントとして、運動会、新年会、日越友好平和ぼんおどり大会に加え、小学生向けのドッジボール大会や日本語カラオケ大会を新規開催しました。既存イベントでは2024年度より参加者数が増加し、新年会ではウルトラマンの登場により、お子様を含め多くの参加者にお楽しみいただきました。会員企業の日本人、ベトナム人およびご家族の皆様にご参加いただき、交流の促進につながる1年となりました。

主な活動

- 10月11日(土) JCCH運動会リハーサル・予選会、JCCHドッジボール大会事前確認 (ホーチミン日本人学校)
- 10月12日(日) JCCH運動会(ホーチミン日本人学校)
- 12月7日(日) JCCHドッジボール大会(ホーチミン日本人学校)
- 1月13日(火) JCCH新年会(ホテルニッコーサイゴン)
- 3月7日(土) 日本語カラオケ大会、日越友好平和ぼんおどり大会(ジャパンベトナムフェスティバル内/9月23日公園)

委員会会合

- 5月6日(火)、6月18日(水)、8月12日(火)、9月29日(月)、12月1日(月)、1月8日(木)、2月27日(金)、3月13日(金)

日本人学校運営委員会



委員長
大木 直伸
(ベトナム住友商事)

2025年12月に第5期校舎が完成し、中学部3学年が新校舎へ移りました。これにより、ホーチミン日本人学校は小学部と中学部を合わせて最大約900人の児童生徒を受け入れることが可能となりました。また、10月の暴風により損傷したブルー屋根の修繕や、雨水の浸水対策工事についても計画がまとまり、2026年の夏休み期間中の完成を目指しております。

主な活動 (下記行事へ委員出席)

- 4月9日(水) 入学式
- 6月15日(日) ミュージックフェスティバル
- 9月28日(日) 運動会
- 12月19日(金) 増築新校舎竣工式
- 3月9日(月) 卒業証書授与式

委員会会合

- 5月14日(水)、7月9日(水)、9月17日(水)、11月12日(水)、1月14日(水)、2月25日(水)

企業交流委員会



委員長
加賀本 崇至
(三菱地所ベトナム)

会員企業同士の交流を目的としたふらっとJCCHや、新規赴任者交流会などのイベントに加え、2025年度は外部企業とのビジネスマッチングの推進にも注力しました。具体的には、日本政策金融公庫との共催による日系企業商談会を初開催したほか、ドンナイ省、在越台湾商工会、ドイツ商工会、ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)のイベントを継続開催し、いずれも好評を得ました。

主な活動

- 6月25日(水) 第1回新規赴任者交流会(The River Oriental)
- 7月17日(木) 第1回新規入会企業とJCCH役員・理事との交流会(パレスホテル)
- 9月23日(火) 第1回ふらっとJCCH(Pizza 4P's ハイパーチュン店)
- 10月15日(水) 在越台湾商工会(CTCVN)・ドイツ商工会(GBA)会員企業との商談会・交流会(ホテルニッコーサイゴン)
- 10月17日(金) 日本式経営研修参加ベトナム企業とJCCH会員企業とのビジネス交流会(ビクトリーサイゴンホテル)
- 11月21日(金) ドンナイ省における日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会(The Mira Central Park Hotel)
- 1月29日(木) 日本政策金融公庫との共催による第1回ホーチミン日系企業ビジネス商談会(ニューワールドホテルサイゴン)
- 2月4日(水) 第2回新規赴任者交流会(ホテルニッコーサイゴン)
- 2月26日(木) 第2回新規入会企業とJCCH役員・理事との交流会(パレスホテル)
- 3月4日(水) 第2回ふらっとJCCH(Pizza 4P's ハイパーチュン店)

委員会会合

- 5月13日(火)、3月10日(火)

広報委員会



委員長
岩本 英久
(東京海上ベトナム)

日系メディアへの積極的な掲載依頼によりJCCH活動の露出を拡大するとともに、Facebook広告の強化によりフォロワー数は3.3万人を超え、日越両言語での発信による反応も拡大しました。また、請求機能の追加などJCCH Webサイトの改修を実施し、利便性の向上を通じて会員満足度の向上に寄与しました。

< 渉外部門 >

2024年度に引き続き、日・米・欧・韓の4商工会議所による合同協議に参加し、各国会議所との間でさまざまな課題について意見交換を行いました。また、各国が主催するイベントにも積極的に参加し、JCCHのプレゼンス向上に努めました。さらに、第3回目となるフランス商工会との合同イベントを開催し、親睦を深めました。

広報委員会での活動

- JCCH Webサイトの維持・管理・機能改善(会費請求、書類発行、入金管理機能の追加、多言語対応の強化)
- Facebookを活用した広報強化(日本語・ベトナム語発信、広告配信、フォロワー数3.3万人突破)
- JCCHカードの利便性向上(加盟店検索MAP機能導入、加盟店向け訴求強化、紹介ブログ運用)
- 日越メディアへの掲載推進(ビジネスマッチング会、日本語スピーチコンテスト、チャリティフリーマーケット、ふらっとJCCHなど)
- 年会誌「メコンの風2025」およびガイドブックの制作・発行

渉外部門での活動

- 5月13日(火) 日米欧韓4会議所会頭会議
- 5月22日(木) HUTECH大学 インターナショナルジョブフェア
- 7月8日(火) 越日工業大学 設立10周年記念式典
- 9月22日(月) フランス商工会打ち合わせ・懇親会
- 9月27日(土) 越日工業大学 入学式
- 10月8日(水) 台湾国慶節レセプション
- 10月15日(水) 在越台湾商工会(CTCVN)・ドイツ商工会(GBA)会員企業との商談会・交流会
- 10月16日(木) 日米欧韓4会議所協議
- 11月20日(木) フランス商工会と共催 Beaujolais Nouveau and Sake 2025
- 12月5日(金) Explore Gifu Sake 2025
- 12月10日(水) 日米欧韓4会議所会頭会議
- 1月15日(木) Blue Sky Travel式典
- 3月10日(火) 日米欧韓4会議所協議

委員会会合

- 6月4日(水)、8月6日(水)、10月7日(火)、12月3日(水)、2月3日(火)、3月11日(水)

組織・規約委員会



委員長
唐澤 雅幸
(JICAベトナム事務所ホーチミン出張所)

会員企業数が1,000社を超え、コロナ禍の影響を脱して企業数の増加と多様化が進む中、JCCHの組織運営の改善および体制強化を目的として、アンケート調査による課題の抽出や規約の整備を行い、事務局と連携しながら運営を担いました。2025年度も、経験豊富なメンバーで構成される組織・規約委員会を定期的に開催し、各種懸案事項への対応を検討することで、商工会議所活動の基盤強化に取り組みました。

主な活動

- 会員企業の入退会管理、会員名簿の更新および会費徴収管理
- 諸規約・規則の整備、内規・規程類の更新
- JCCH各委員会・部会活動への助言

実績

- 2024年度会員企業向けアンケート調査結果の分析および関連統計の作成
- 上記分析・統計およびベトナム政府の地方自治体再編を踏まえた規約整備
(①JCCH執行役員および商工部会理事の選任手続きに関する規約、②JCCHにおける商工部会の設置に関する規約)
- JCCH事務局運営ルールの見直し(年会費請求、部会費用支払いなどの手続き見直しを含む内規・規程類の整備)
- JCCH事務局活動のサポート(採用面接、人事運営など)
- 2025年度会員企業向けアンケート調査の実施および結果の取りまとめ(2026年1月～3月)

委員会会合

- 6月5日(木)、8月1日(金)、10月2日(木)、12月2日(火)、1月14日(水)、3月6日(金)

部会別活動報告

商工会議所活動の基本となるのが「部会」です。部会は、各社事業内容もしくは地域毎に分かれており、現在、JCCHIには13の部会があります。それぞれの部会に含まれる業種・地域については右の表をご覧ください。各部会は、部会長、副部会長に数名の理事を加えた役員によって運営されています。いずれの場合も、活動の基本となるのは「部会会合」で、約2か月に1回、開催されています。これに加え、所属する会員企業のニーズに合わせ、工場見学会や勉強会、親睦を深めるための新年会やゴルフなど、それぞれ特色のある活動を行っています。

部会名称	業種区分・地域
貿易部会	貿易、商業
建設部会	建設、建材関連
運輸部会	陸海空運、倉庫運輸関連
第一サービス部会	コンサル、人材派遣、広告、流通小売、内装、教育等
第二サービス部会	旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備等
IT部会	情報通信、ITソフトウェア開発
金融・保険部会	銀行、保険、その他金融、会計事務所等
(製造業)	
ホーチミン市部会	ホーチミン市及び以下の5部会の所管エリア以外に所在する製造業等
タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地及びリンチュン工業団地に入居する製造業等
ビンズン部会	ビンズン省に所在する製造業等
ドンナイ部会	ドンナイ省に所在する製造業等
ロンアン部会	ロンアン省に所在する製造業等
バリアンタウ部会	バリアンタウ省に所在する製造業等

貿易部会

専門家による講演会を開催し、他部会との交流も実現



部会長
江利川 聡彦
(豊田通商ベトナム)

2025年度は、計6回の講演会を開催しました。テーマは、①「トランプ関税によるベトナム経済への影響」、②「ベトナムにおけるコーポレートガバナンスの現状」、③「工業団地から見たベトナム進出企業トレンドと今後（日系と非日系）」、④「ワインのタバ（合同部会によるワインの楽しみ方とボジョレーヌーボー試飲会）」、⑤「～『人』を活かす経営を目指して～日系企業で働くベトナムビジネスパーソン」の行動傾向をつかみ、リーダーシップの発揮に活かす」、⑥「足元のベトナム経済状況と今後の見通しについて」です。

年度を通じて、経済・人事・ガバナンスなど幅広い分野をテーマとして取り上げ、より多くの会員企業の皆様に関心を持っていただける講演会の開催に努めました。

また、10月と3月にはゴルフコンペも開催し、会員企業の皆様の交流の場としてご活用いただきました。



▲ 貿易部会ゴルフコンペ
(10月26日)



▲ 第一サービス、第二サービス部会との合同部会(11月27日)

建設部会

親しみやすい部会を目指した活動の展開



部会長
吉野 友隆
(大成建設ベトナム連絡所)

2025年度は「より親しみやすい部会」を目指し、多くの方に部会へ関心を持っていただき、気軽に参加していただけるよう活動を進めてまいりました。

年6回の定例会(うち2回はIT部会、運輸部会との合同部会)を開催し、会員企業同士の交流を深めました。また、ゴルフコンペや運輸部会との合同ボウリング・BBQ大会などの懇親行事に加え、サッポロベトナム様の工場見学、ホーチミン日本人学校様の建設現場視察なども実施しました。

さらに、社会貢献委員会の臼井委員長のご協力により、タンハイビーチ清掃活動に建設部会として参加する機会をいただき、多くの部会員の皆様にご参加いただきました。

対外的な活動としては、島根県建設産業事業者の皆様が来越された際に交流会を開催し、ベトナムの建設市場やベトナム人材の送り出し・育成などについて意見交換を行いました。

皆様のご支援のおかげで、1年間無事に部会活動を実施することができました。改めて感謝申し上げます。



▲ サッポロベトナム工場視察
(8月21日)



▲ 運輸部会との合同ボウリング大会
(12月20日)

運輸部会

会員企業の情報交換と交流、新しい取り組みの実施



部会長
今津 麗
(ロジテムベトナム)

運輸部会では、他部会との合同部会を2回、単独での部会を4回開催し、計6回の定例会を実施しました。

部会長・副部会長・理事が前年度と同じ体制であったことから、「2024年度にできなかったことをやろう!」と「部会員の方々の参加率向上と飽きのこない部会作り」を目標に活動を進めてまいりました。その一環として、建設部会との合同ボウリング大会を2度開催しました。ゴルフ以外の交流の場としても好評で、これまでとは異なる形で部会員同士の交流を深める機会となりました。

また、定例会の開催場所を毎回変更し、食事を楽しみのひとつとして提供できるよう努めました。さらに、次期運輸部会役員の選出は、新たに他薦による投票形式を導入しました。半年以上前から定例会で説明を重ねてきたこともあり、円滑に進めることができました。恒例の部会ゴルフコンペも4回開催し、部会の垣根を越えて多くの方にご参加いただきました。

2年間、副部会長や理事、会員企業の皆様に支えられ、無事に任期を務めることができました。この場をお借りして、御礼申し上げます。



▲ 建設部会との合同ボウリング大会
(6月11日)



▲ 運輸部会ゴルフコンペ
(1月18日)

第一サービス部会

他部会を含む広い交流機会の創出と、仕事と趣味・まじめと楽しいの硬軟を合わせた講演会の実施



部会長
古川 直正
(ブレインベトナムサービス)

2025年度は、時事的なテーマや業務に関連する内容に加え、趣味や文化的な話題も取り入れながら、多彩な講演会を開催しました。講演テーマは、①「工業団地からみたベトナム進出企業トレンドと今後」、②「“新興国市場の入り口に立ったベトナム市場”～2030年までに、民間企業100万から200万社を目指すベトナムの株式市場のゆくえ～」、③「サッポロビールのベトナム市場開拓・ブランディング確立の軌跡と今後の戦略/JCCH社会貢献委員会活動について」、④「ワインのタベ」、⑤「ベトナム2026年の展望(趣味的な視点も交えた)」、⑥「ベトナムサッカーの現在地と未来」です。これら計6回の講演会は、オンライン開催も含め、すべて合同部会として実施しました。

また、合同ゴルフコンペも開催し、部会内外の会員企業間の交流機会の創出にも努めました。

2026年度は、2025年度の基本方針を踏襲しつつ、新たな懇親のあり方や交流機会の創出についても模索していきたいです。



▲ 第二サービス部会との合同部会
(5月27日)



▲ 4部会合同ゴルフコンペ
(10月18日)

第二サービス部会

部会を超えたネットワーキングとビジネス・生活に役立つ情報発信



部会長
中村 正樹
(東急ディベロップメント)

第二サービス部会は、旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備などの多業種の企業で構成されており、「他業種も含めたネットワーキング」と「ビジネス・生活に役立つ情報発信」を重視して部会活動を行いました。2025年度は計5回の部会を開催し、うち4回は合同部会として実施しました。単独部会では、参加企業による事業紹介を行い、部会員同士の相互理解と結束力の向上を図りました。

また、4部会合同ゴルフコンペ(第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険)では、部会員同士が力を合わせることで、部会として2連勝を飾ることができました。

セミナーでは、ベトナムの最新動向や文化も踏まえたテーマとして、「工業団地からみたベトナム進出企業トレンドと今後」、「サッポロビールのベトナム市場開拓・ブランディング確立の軌跡と今後の戦略/JCCH社会貢献委員会活動について」、「ワインのタベ」、「ベトナムサッカーの現在地と未来」について、講師の方々から有意義なお話を伺いました。

2026年度も、部会員の皆様の声を伺いながら、新たなテーマにも積極的に取り組んでまいります。



▲ 第2回第二サービス部会
(7月23日)



▲ サッポロベトナム白井社長講演会
(9月25日)

IT部会

部会内外での交流を育んだ1年!



部会長
寺田 大典
(ラクスベトナム)

2025年度は、計6回の部会を隔月で開催し、毎回40名を超える会員企業の皆様にご参加いただきました。各回の部会ではセミナーの開催および情報交換を行い、6回のうち4回は他部会との合同部会として開催するなど、部会間の交流の機会を多く設けることができました。

11月には、IT部会で毎年恒例となっているフットサル大会を実施して32チームが参加し、会員企業の社員同士の交流を深める場となりました。また、賃金調査・労働環境アンケートを実施し、12月の報告会では、部会内の職場環境や賃金レベルの変化、近年の労働環境上の懸念点などについて活発な議論が行われました。

ゴルフコンペも恒例行事として、10月には第一サービス部会、第二サービス部会、金融・保険部会との合同で、6月と2月にはIT部会単独で開催しました。部会を越えた交流の場として、多くの会員企業の皆様にご参加いただきました。

今後も増加する会員企業の皆様のご要望に応えながら、積極的な活動を継続してまいります。



▲ IT部会フットサル大会
(11月22日)



▲ 第4回IT部会(11月27日)

金融・保険部会

会員共通のトピックに関するセミナーの開催と他部会との積極的な交流



部会長
田村 將史
(損害保険ジャパン)

2025年度は、計6回の部会および懇親会を開催しました。そのうち3回は他部会との合同部会として実施し、エースコックベトナム様の工場見学会も開催しました。

さらに、第一サービス部会、第二サービス部会、IT部会との4部会合同ゴルフコンペも開催し、部会内外の会員企業間の交流を深める機会となりました。

また、2025年はベトナムの政治・経済の転換期であったことから、経済を中心とした硬派なテーマと、ベトナムで活躍される日系企業の取り組み(サッポロベトナム様、エースコックベトナム様)、JCCH社会貢献活動、ベトナムサッカーなどの親しみやすいテーマを組み合わせながら選定し、経験豊富な講師陣から有意義な講演をご提供いただきました。また、各回の部会・イベントを通じて、部会内外を問わず会員企業の皆様の交流の場としてもご活用いただきました。

理事の皆様をはじめ、合同部会を共催いただいた各部会長の皆様、ご協力いただいた講師・企業の皆様、そして会員企業の皆様のご支援により、無事に部会運営を行うことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。



▲ 4部会合同ゴルフコンペ
(10月18日)



▲ エースコックベトナム工場見学会
(1月20日)

ホーチミン市部会

多岐に渡る講演内容と、大いに盛り上がった懇親会



部会長
西隈 隆
(三菱電機ベトナム)

講演会では、多岐にわたるテーマ(社員モチベーション向上、省庁再編の現状、DX推進、進化するAI)をオンラインにて会員企業に提供しました。金融・保険部会にお声がけいただき合同部会を開催し、部会間交流を促進しました。

ゴルフコンペでは、約1名プロ級の腕前の方がいて、その他多くは100均でしたが懇親会も含め大いに盛り上がりました。

3月には5部会合同部会を開催し、年度最後のイベントとして盛会のうちに終了しました。

2026年度も引き続き、会員企業のサポート、皆様のお役に立てる講演会の実施、楽しく過ごせるイベントの開催などの活動を行ってまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



▲ ホーチミン市部会ゴルフコンペ
(7月27日)



▲ 金融・保険部会との合同部会
(11月25日)

タントアン・リンチュン部会

工業団地の将来に向けて所属企業・政府・他国商工会との連携



部会長
廣部 正雄
(古河オートモーティブパーツ)

タントアン・リンチュン部会は、1991年設立のタントアン輸出加工区と1997年設立のリンチュン輸出加工区に立地する製造業を中心に、52社が所属する部会です。

定例会は2か月ごとにタントアンの会議室にて開催しており、各種情報交換のほか、ゴルフコンパや忘年会などの親睦行事も盛況に実施されています。定例会では、省庁再編や法令改定などに伴う各社の課題や困りごとについて情報共有を行う場として活動してきました。

2025年度からは、新たに所属企業による企業紹介の時間を設け、会員企業相互の理解を深めてまいりました。今後さらなる連携強化につながることを期待しています。

タントアン輸出加工区は2041年に土地使用期限を迎え、今後ハイテク団地へと生まれ変わることが見込まれています。今後も所属企業同士の連携をはじめ、政府機関や他国企業との協力関係を大切にしながら、より良い未来に向けた活動を継続してまいります。



▲ 政府・他国商工会合同意見交換会
(5月28日)



▲ タントアン・リンチュン部会忘年会
(12月17日)

ビンズン部会

歴史的な省市再編に揺れた1年!



部会長
長戸 隆彦
(ベカメックス東急)

2025年度は、省市再編という歴史的な出来事があった1年でした。7月の再編によりビンズン省はホーチミン市と合併し、「大ホーチミン市」となりました。これまで連携があった税関局などの庁舎も配置転換が行われるなど、事業活動に直結する影響がありました。

そのような状況の中でも大きな混乱なく事業活動を継続できたのは、JCCHの会員企業間で草の根の情報共有があったからこそと考えています。

再編による効果からか、旧ビンズン省周辺は道路整備などのインフラ投資が加速しています。このような背景から、今年は旧ビンズン省エリアの都市マスタープランに関するセミナーなどの活動を行いました。

2026年度は「ホーチミン北部部会」として活動してまいります。



▲ ビンズン部会フットサル大会
(9月28日)



▲ 旧ビンズン省エリアの都市マスタープランに関するセミナー、見学会
(10月3日)

ドンナイ部会

会員企業とともに歩む一年

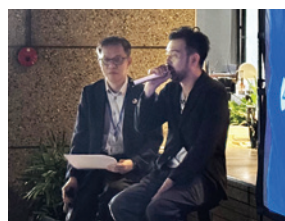


部会長
小谷 昇司
(ベトナムエヌオーケー)

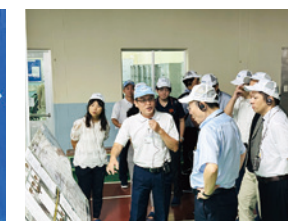
2025年度のドンナイ部会は、「今までよりさらに部会を身近に」をテーマに活動しました。定例の部会・懇親会を4回開催し、従来のホテルだけでなく、Pizza 4P's や The River Oriental などの人気レストランを会場として、各施設ならではの特別企画を実施しました。4P's マネージャーへのインタビューは会員企業の皆様から高い評価を得ました。

また、ミツバベトナム様のご協力による会員企業訪問や部会ゴルフコンパを通じて、会員企業間の交流を深めました。さらに、ドンナイ省人民委員会への表敬訪問も行い、地域行政との良好な関係の維持にも努めました。

とりわけ「環境ライセンス問題」や「化学品法改正問題」では会員企業の声を吸い上げ、JCCHと連携しながら、1企業では対応が難しい課題に対して解決に向けた取り組みを行ってまいりました。



▲ 4P's 横川マネージャー講演会
(9月12日)



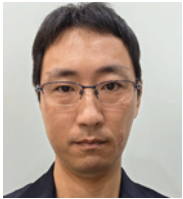
▲ ミツバベトナム企業訪問
(10月8日)

ロンアン部会

地域行政との関係強化と企業間の情報交換・交流の推進



委員長 (～2025年12月)
畑中 周
(ビナエコボード)



委員長 (2026年1月～)
早川 雅納
(ビナエコボード)

2025 年度も、地域行政との緊密な関係を継続し、さらに強化していくための活動を進めてまいりました。省の合併により大きな変化を迎えた年ではありましたが、皆様のご協力により、サッポロ夏祭りにおけるロンアン省幹部との懇親会などを引き続き開催することができました。今後、地域行政との関係強化は一層重要になると考えられ、当部会の特色として今後も継承してまいります。

また、タイニン省人民委員会と日系企業とのラウンドテーブルについても現在協議を進めており、2026 年度の実施を目指しています。

加えて、部会および懇親会における企業間交流も活発に行われ、変化する事業環境や各種法令に関する情報共有、ならびに対応に関する相談の場を継続的に提供することができました。今後も引き続き、地域に根差した部会活動を推進してまいります。



▲ サッポロ夏祭り
(8月26日)



▲ 第4回ロンアン部会懇親会
(12月10日)

バリアブンタウ部会

ホーチミン市南部エリアの日系企業の交流促進



部会長
橋本 泰助
(オーゾートレーディングベトナム)

2025 年 7 月に新生ホーチミン市が発足したことに伴い、バリアブンタウ部会としての対外的な取り組みは例年に比べ減少しましたが、日本文化交流プログラムや、2024 年度より引き継いだバリア・ブンタウ省中小企業協会(VINASME)との対話会には参加・実施することができました。

また、ラウンドテーブルについても、4 月の表敬訪問の際に開催を要請しましたが、行政再編および合併の影響により、残念ながら実施は延期となりました。

一方、2025 年度も恒例となっているロンアン部会との合同ゴルフコンペを開催したほか、加入企業の福利厚生調査の一環として、VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL 様にてキャンティーン視察を実施しました。さらに、施設見学会として大塚ニュートラシューティカルベトナム様でのサイトツアーも実施し、会員企業の活動や理解を深める機会を設けました。

部会およびその後の懇親会を通じて、会員企業同士の交流も引き続き活発に行われたと考えられます。



▲ VIETNAM RARE ELEMENTS
CHEMICALキャンティーン巡り
(3月18日)



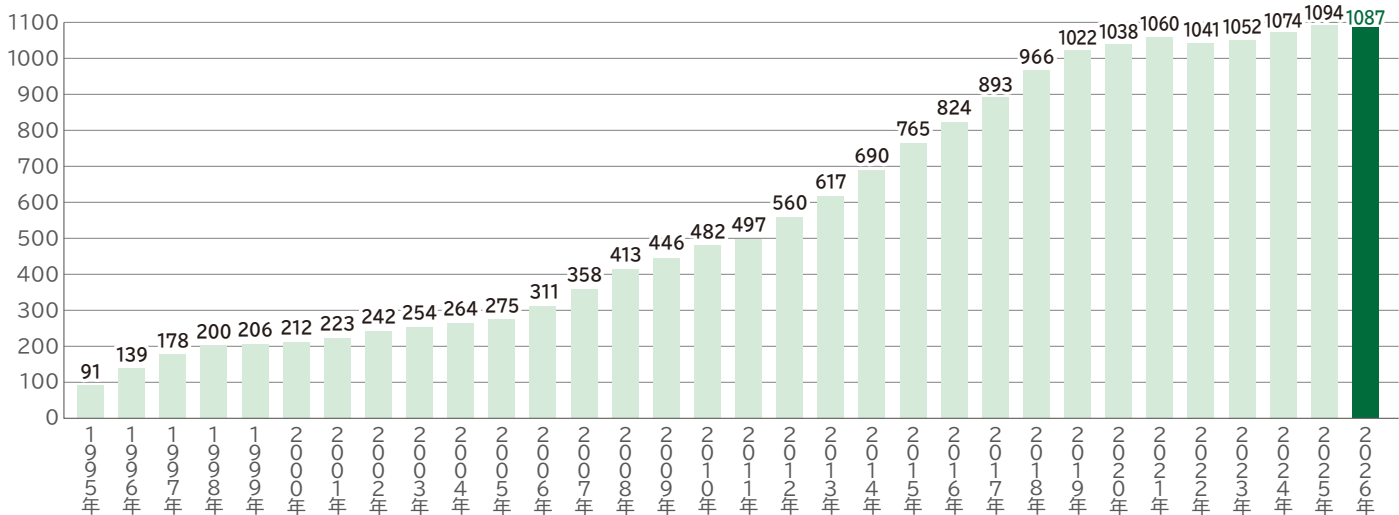
▲ 大塚ニュートラシューティカルベ
トナム工場見学会(3月18日)

データでみるJCCH活動

現在、JCCHの会員数は1087社(2026年3月末現在)であり、これはベトナム国内にある日本商工会議所の中で最も多い会員数となっています。3つの商工会議所の合計会員数は2145社にのぼり、国別で見た日本商工会議所の会員数としては、中国に次ぐ第2位の規模を誇ります。

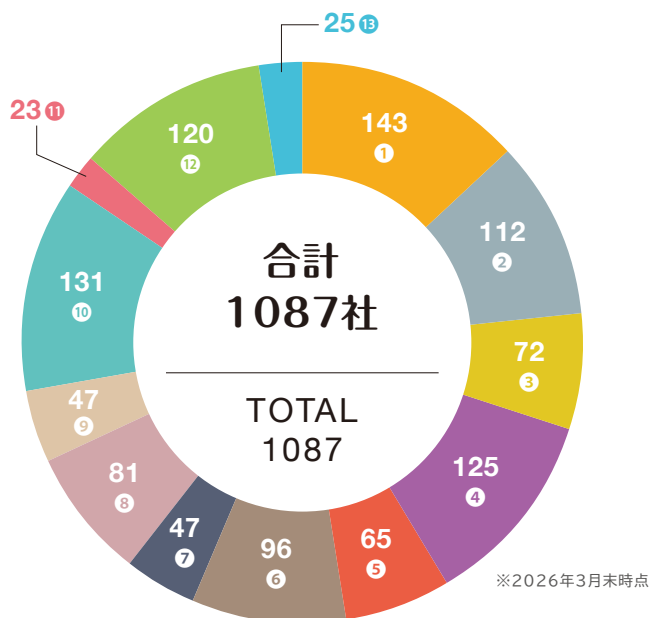
また、ベトナム全体における会員数は年々増加しており、今後もJCCHの存在感はさらに高まることが期待されます。会員企業の皆様のご協力をいただきながら、引き続き日本とベトナム双方への貢献に努めてまいります。

会員企業数推移



※2026年3月末時点

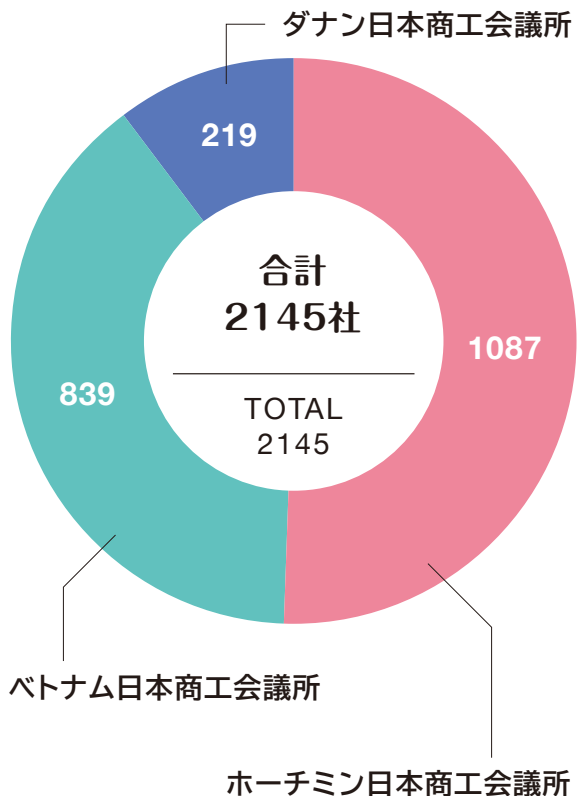
部会構成



※2026年3月末時点

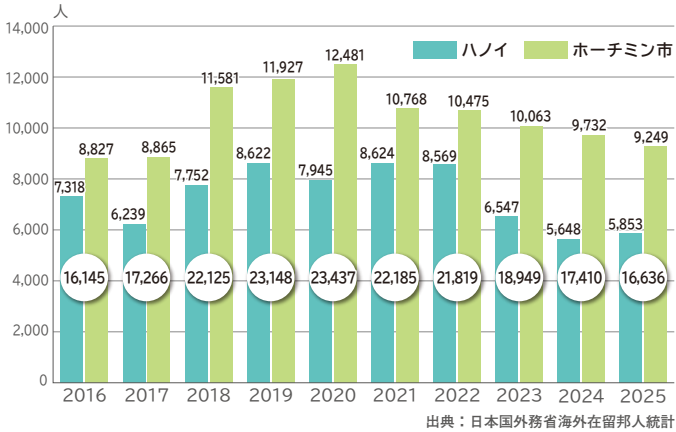
- ① 貿易部会 13.2%
- ② 建設部会 10.3%
- ③ 運輸部会 6.6%
- ④ 第一サービス部会...11.5%
- ⑤ 第二サービス部会 ... 6.0%
- ⑥ IT部会 8.8%
- ⑦ 金融・保険部会.....4.3%
- ⑧ ホーチミン市部会 7.5%
- ⑨ タントアン・リンチュン部会 .. 4.3%
- ⑩ ビンズン部会 12.1%
- ⑪ バリアブントウ部会 2.1%
- ⑫ ドンナイ部会 11.0%
- ⑬ ロンアン部会 2.3%

在ベトナム日本商工会議所の会員数

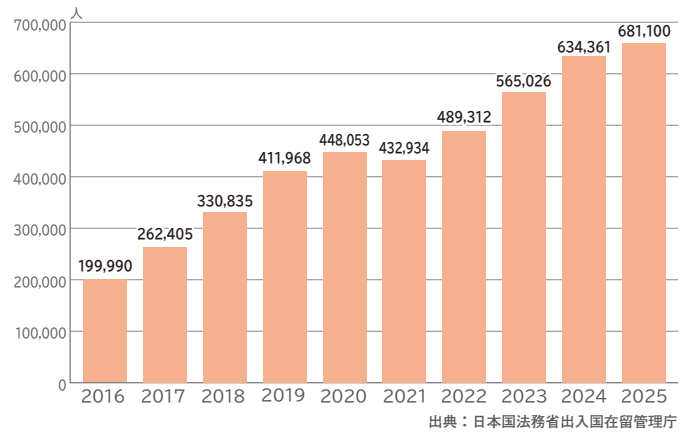


※2026年3月末時点

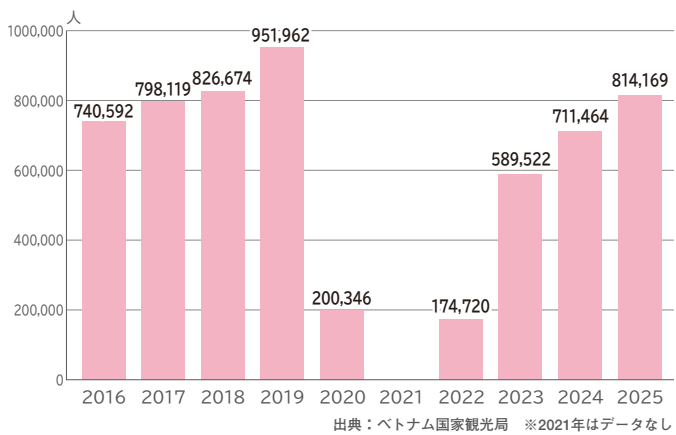
ベトナム在留邦人数の推移



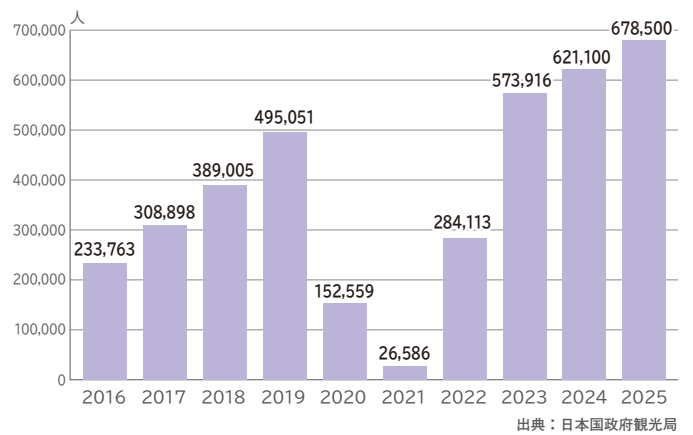
日本在留ベトナム人数の推移



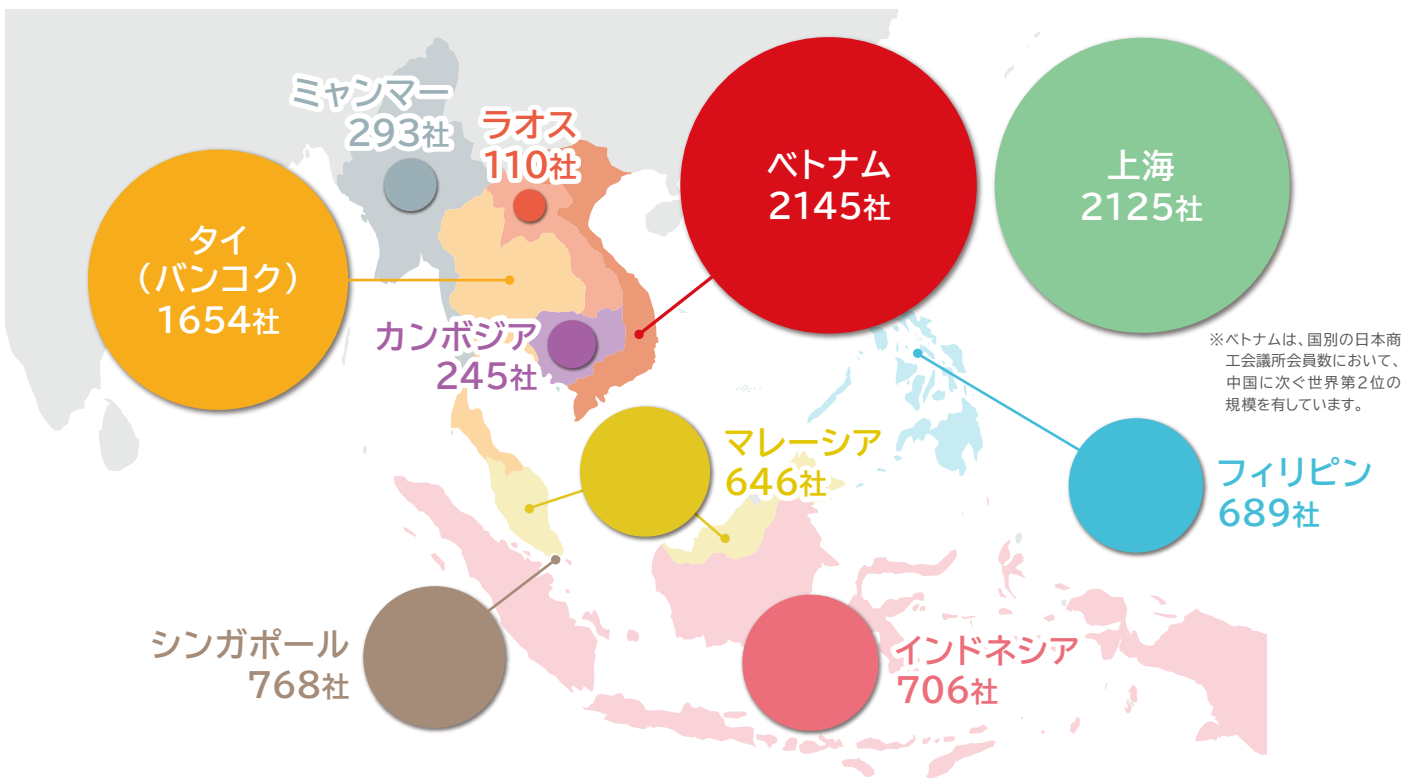
訪越日本人数の推移



訪日ベトナム人数の推移



近隣諸国にある日本商工会議所の会員数



※2026年3月末時点
 ※日本商工会議所に相当する組織は国によって異なります。各組織のウェブサイトなどで公開されている最新の数値を参照しました。

JCCH ニュースフラッシュ

今年度もJCCHの活動を各種外部メディアで掲載いただきました。その一部をご紹介します。

1 時事通信

新会議にベトナム三菱商事の久米氏はホーチミン日本商工会議所 (2025/04/28-19:34)

【19時時事】ベトナムのホーチミン日本商工会議所（JCCH）は25日、オンラインで2025年度定期総会を開催し、新会議にベトナム三菱商事ホーチミン支店長の久米邦英氏を選出した。久米氏は1992年に三菱商事に入社し、24年4月からホーチミン支店長を務めている。

久米氏は、「皆様からの信任に応え、職責を果たせるよう、力の限り会議所運営に努める」とあいさつした。（ア）

▲2025年4月28日（月）久米会頭の就任について掲載いただきました。

2 NNAベトナム

改革の「実行力」に注目 内需の拡大に期待、HCM商工会

ベトナムの経済発展に貢献しているJCCHの活動が注目されている。2025年1月14日（水）久米会頭のインタビュー記事が掲載されました。

▲2026年1月14日（水）久米会頭のインタビュー記事を掲載いただきました。

3 週刊Vetter

“LOCAL HOT NEWS” VETTER

過去最多3,380人が参加! 「JCCH運動会2025」開催

ベトナムのスポーツ界に注目を集めているJCCHの活動が注目されている。2025年10月29日（水）「JCCH運動会2025」の様子が掲載いただきました。

▲2025年10月29日（水）「JCCH運動会2025」の様子が掲載いただきました。

2025年10月29日（水）、2026年3月4日（水）「チャリティフリーマーケット」の一般来場者募集記事を掲載いただきました。

イベント

- 11月10日(日) 13:00-17:00
 - SGRA gardens SC 1 ■ SGRA gardens SC 1, Huynh Thue Khang St., Phu My Ward, Thu Duc Market, Binh Duong
- 11月23日(日) 「Futuro Day」
 - 「Futuro Week Day」
 - 「Futuro Day」
- 11月23日(日) 11:00-18:00 (予定)
 - Ham Nghi St., My Dinh 2 Ward, Nam Tu Liem Dist., Hanoi
- 11月23日(日) HCMC
 - 「Futuro Week Day」
 - 「Futuro Day」
- 11月23日(日) HCMC
 - 「Futuro Week Day」
 - 「Futuro Day」

4 月刊VIETNAM SKETCH

日本商工会議所レポート

会員企業の事業活動を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

JCCH 2025年5月29日(水)

2025年度JCCH役員がホーチミン市人民委員会を表敬訪問

久米邦英会頭をはじめ、執行役員・理事50人は、ホーチミン市人民委員会とのアジェンダ・ミーティングを開催し、表敬訪問した。

▲2025年8月号「ホーチミン市人民委員会への表敬訪問」および「会員交流パーティー」の様子が掲載いただきました。

日本商工会議所レポート

会員企業の事業活動を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

JCCH 2025年11月22日(日)

社会貢献活動を身近に チャリティフリーマーケットを開催

社会貢献委員会、ベトナムの発展を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

▲2026年1月号「チャリティフリーマーケット」および「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」の様子が掲載いただきました。

5 月刊ACCESS

Event Focus

新たな試み! 日系企業同士のビジネス商談会

JCCH

ベトナム市内の各企業は1月29日、第1回「ホーチミン日系企業ビジネス商談会」が開催された。主催は日本政策投資銀行とホーチミン日本商工会議所（JCCH）。

▲2026年3月号第1回「ホーチミン日系企業ビジネス商談会」の様子が掲載いただきました。

Event Focus

過去最大195社・140人が参加した交流イベント

JCCH

ホーチミン市内の各企業は3月4日、JCCH主催の「交流イベント」が開催された。参加者は195社、140人。

▲2026年4月号「ふらつとJCCH」の様子が掲載いただきました。

6 ホーチミンテレビ (HTV)



▲ 2025 年 12 月 13 日 (土)
「ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル」の様子を報道いただきました。

7 ドンナイテレビ (DNRTV)



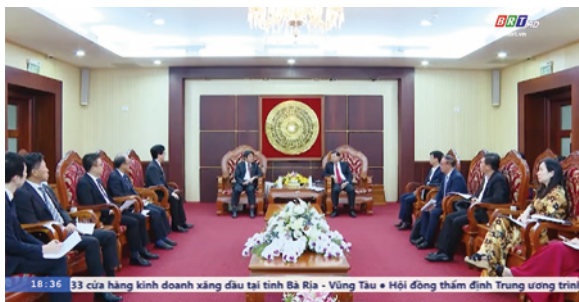
▲ 2026 年 1 月 27 日 (火)
「ドンナイ省人民委員会へのテトご挨拶」の様子を報道いただきました。

8 ロンアンテレビ (LATV)



▲ 2025 年 5 月 23 日 (金)
「ロンアン省人民委員会への表敬訪問」の様子を報道いただきました。

9 バリアブントウテレビ (BRT)



▲ 2025 年 5 月 22 日 (木)
「バリアブントウ省人民委員会への表敬訪問」の様子を報道いただきました。

10 ベトナム有力新聞トゥオイチェー (Tuoi Tre)



◀ 2025 年 12 月 13 日 (土)
「ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル」におけるタンソンニャット空港の手続き時間の改善要望について報道いただきました。

11 ベトナム有力新聞ティンニエン (Thanh Nien)



◀ 2026 年 1 月 31 日 (土)
「中高生スピーチコンテスト」の様子を掲載いただきました。

事務局主要活動実績表

2025年4月

3日(木)	2025年度実行委員会運営ガイダンス	WEB
4日(金)	2025年度部会運営ガイダンス①	WEB
8日(火)	2025年度部会運営ガイダンス②	WEB
9日(水)	富士フィルムビジネスイノベーションベトナム研究開発拠点オープニングイベント	同社
	日本人学校入学式	同校
11日(金)	ニトリ4号店オープニングセレモニー	同店
	東急ベトナム進出13周年記念パーティー	The Nexus
14日(月)	在越日米韓総領事主催 サイゴンハイテクパーク視察会	同ハイテクパーク
17日(木)	メモリードベトナム「U444-The BBQ House」のオープニングイベント	同店
18日(金)	長岡技術科学大学との意見交換会	JETRO
21日(月)	執行役員会	JCCH
	第32回JCCH総会	WEB
25日(金)	理事会	WEB
	JCCI若林会頭との夕食会	Dim Tu Tac

2025年5月

6日(火)	スポーツ・文化委員会	JCCH
7日(水)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
9日(金)	伊藤大使表敬訪問	在ベトナム日本国大使館
12日(月)	執行役員会	JCCH
	日米欧韓4会議所会頭会議	韓国商工会(Kocham)
13日(火)	企業交流委員会	JCCH
	ドンナイ省人民委員会表敬訪問	同庁舎
14日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	ベトナム公安省との懇談会	博多いねや
15日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
17日(土)	建設部会ゴルフコンペ	Dong Nai Golf Course & Resort
	人文社会科学大学日本学科設立30周年式典	同校
	運輸部会	ちよだ鮎
19日(月)	貿易部会	ベトナム住友商事 + 桜々レストラン
	日本政策金融公庫との夕食会	花美
21日(水)	ロンアン部会	JCCH + 膳
	タントアン・リンチュン部会	TTC会議室
	建設部会	ホテルニッコーサイゴン
22日(木)	ホーチミン市建設・建材協会(SACA)総会	GEM Center
	バリアブントアウ省人民委員会表敬訪問	同庁舎
	Pasona Vietnam 新社名披露・感謝の会	ホテルニッコーサイゴン
23日(金)	ロンアン省人民委員会表敬訪問	同庁舎
24日(土)	第2回ホーチミン市外交懇親ゴルフコンペ	タンソンニャットゴルフ場
26日(月)	日本青年会議所視察団との交流会	Rex Hotel
	労務委員会	JCCH
27日(火)	第一サービス、第二サービス部会合同部会	サイゴンプリンスホテル
	小野総領事と日本人学校関係者との夕食会	総領事公邸
	在越英国商工会とのミーティング	JCCH
28日(水)	ホーチミン市部会	JCCH + Cocotte - Da Kao
	金融・保険部会	桜々レストラン
	タントアン輸出加工区説明会	同オフィス
	IT部会	サイゴンホテル
29日(木)	ホーチミン市人民委員会表敬訪問	同庁舎
	VJCC日本式経営研修経営塾第20期閉講式・第21期開講式	VJCC
	ジャカルタジャパクラブとの夕食懇談会	SH Garden
30日(金)	ピンズン省人民委員会表敬訪問	同庁舎
	小野総領事と執行役員との夕食会	総領事公邸

2025年6月

2日(月)	事業環境委員会	WEB + JCCH
4日(水)	広報委員会	JCCH
5日(木)	組織・規約委員会	博多いねや
6日(金)	ピンズン部会	Grand Square
8日(日)	タントアン・リンチュン部会懇親ゴルフコンパ	Vietnam Golf & Country Club
10日(火)	ベトナム-日本高校生・大学生友好交流会	バリア・ブンタウ省青少年センター
11日(水)	建設、運輸部会合同ボウリング大会	MEGA BOWL VIETNAM
15日(日)	日本人学校ホーチミン・ミュージック・フェスティバル(音楽発表会)	同校
16日(月)	執行役員会	JCCH
17日(火)	社会貢献委員会	U444
	スポーツ・文化委員会	JCCH
18日(水)	日越共同イニシアティブ委員会	WEB
	ドンナイ省「ものづくり人材交流会 in Dong Nai」	ラクホン大学
	理事会	パレスホテル
19日(木)	JCCH会員交流パーティー	レバリーサイゴンホテル
	バリアブンタウ部会	フーミー3工業団地
20日(金)	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのラウンドテーブルキックオフ会議	ITPC
	生活環境委員会	JCCH
24日(火)	バリアブンタウ省中小企業協会(VINASME)との面談	同オフィス
25日(水)	ベトナム新規赴任者向け交流会	The River Oriental
27日(金)	ドンナイ部会	ニューワールドサイゴンホテル
29日(日)	運輸部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort

2025年7月

2日(水)	厚生労働省SESPP事務局との面談	JCCH
3日(木)	Shidler College of Businessご来訪	JCCH
4日(金)	ミーティング・ジャパン in ダナン	ダナン
8日(火)	ホーチミン市テクノロジー大学(HUTECH)付属越日工業大学(VJIT)設立10周年記念式典	同校
	東京都産業労働局産業・エネルギー政策部との面談	JCCH
9日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
14日(月)	執行役員会	JCCH
16日(水)	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
17日(木)	新規入会企業と理事との懇親会	パレスホテル
	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)主催「工業用不動産に関するセミナー」	ヒルトンホテル
18日(金)	ホーチミン市税務局との面談	同庁舎
	中小企業基盤整備機構との面談	JCCH
21日(月)	在越英国商工会とのミーティング	JCCH
22日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
	労務委員会	JCCH
23日(水)	ホーチミン市部会	WEB + K-Wine Bar
	第二サービス部会	ホテルニッコーサイゴン
24日(木)	貿易部会	ベトナム住友商事 + 桜々
	建設、運輸部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン
25日(金)	カインホア省企業・投資家との会合	同省
27日(日)	ホーチミン市部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
28日(月)	ASEAN 日本人商工会議所連合会(FJCCIA)事務局長会議・総会	ジャカルタ
29日(火)	事業環境委員会	JCCH + WEB
	第17回ASEAN日本人商工会議所連合会(FJCCIA)とASEAN事務総長の対話会合	ジャカルタ
31日(木)	第一サービス、IT、金融・保険部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン
	SORA Gardens III起工式	SORA Gardens III

2024年8月

1日(金)	組織・規約委員会	JCCH
2日(土)	アジア域内日本人会事務局長会議	JCCH
	ホーチミン国際金融センター設立正式発表会	Thiskyhall Sala Convention Center
5日(火)	亜細亜大学「海外ビジネスフィールドワーク」向けレクチャー	JCCH
6日(水)	広報委員会	JCCH
	第2地域通関支局国際Express通関との対話集会	同庁舎
7日(木)	生活環境委員会	JCCH
8日(金)	日越友好議員連盟の訪越に伴う経済イベント	カントー市
	カマウ省財務局副局長との面談	カントー市
	社会貢献委員会ガーデン公園清掃活動	ガーデン公園
9日(土)	日越友好議員連盟との夕食会	ホテルニッコウサイゴン
	イオン・タンアン店植樹祭	同施設
11日(月)	マレーシア日本商工会議所との意見交換	マレーシア
12日(火)	チン首相と日系企業との対話会合	ハノイ首相府
	スポーツ・文化委員会	JCCH
13日(水)	日本人学校増築状況の現地視察	同校
19日(火)	ベトナム建国記念80周年レセプション	統一会堂
20日(水)	三菱地所物流施設「Logicross NAM THUAN」竣工式	同施設
21日(木)	建設部会「サップロベトナム工場見学会」	サップロベトナム
22日(金)	「あぶりや」プレオープンレセプション	同店
25日(月)	日本化学工業協会(日化協・JCIA)とのミーティング	WEB
	神戸商工会議所との夕食会	Hokkaido Sachi
26日(火)	ロンアン部会夏祭り	サップロベトナム
27日(水)	神戸商工会議所ご来訪	JCCH
	ホーチミン市越日友好協会との夕食会	LAM LAM XUA
28日(木)	神奈川県庁雇用労政課とのミーティング	WEB

2025年9月

4日(木)	ベトナム保健省副大臣との面談	ハノイ
7日(日)	社会貢献委員会ホーチミン日本人学校周辺清掃活動	同校
	北九州市立大学MBA研修生へのレクチャー	Sun Wah Tower会議室
8日(月)	JICAタウンナギプロジェクト試食会	陸庵
	ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)所長退職記念式典	Nam A Restaurant
	大阪・関西万博ベトナムナショナルデー公式式典	同万博
9日(火)	ホーチミン市内務局主催 「ベトナムにおける外国人労働許可証に関する政令219/2025/NĐ-CP号説明会」	同庁舎
	労務委員会	JCCH
11日(木)	東アジア・アセアン研究センター(ERIA)との面談	JCCH
	在越フランス商工会とのミーティング	WEB
12日(金)	ドンナイ部会	Pizza 4P's
	日本商工会議所とのミーティング	WEB
15日(月)	執行役員会	JCCH
16日(火)	社会貢献委員会	サップロベトナム
	日本人学校運営委員会	JCCH
17日(水)	レバリーサイゴン10周年記念イベント	同館
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
	部会長会	JCCH
18日(木)	理事会	パレスホテル
	国際協力銀行(JBIC)との夕食会	五郎一
	バリアブントウ部会	CJビル + YUKIレストラン
19日(金)	日本デジタル庁とのミーティング	JCCH
	エースコックベトナム操業30周年記念式典	Thiskyhall Sala Convention Center
20日(土)	ホーチミン市日越友好協会絵画展	Ho Chi Minh City Fine Arts Museum
	第2地域税関支局主催「企業との対話集会」	同庁舎
22日(月)	運輸部会	とり喜
	在越フランス商工会とのミーティング	RBAオフィス
	日本食フェアオープニングセレモニー	ホテルニッコウサイゴン
	ホーチミン日本人学校5年生を対象に社会貢献活動講義	同校
23日(火)	ふらっとJCCH	Pizza 4P's
	労務委員会	JCCH + WEB

24日(水)	ホーチミン市部会 タントアン・リンチュン部会 貿易部会	WEB + 桜々 TTC ベトナム住友商事 + 博多いなや
25日(木)	建設、IT部会合同部会 第一サービス、第二サービス、金融・保険部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
26日(金)	第18地域税関支局(旧ドンナイ省税関局)主催「2025年度企業との意見交換会」	同庁舎
27日(土)	第126回 JCCH建設部会親睦ゴルフコンパ 日本人学校運動会	Dong Nai Golf Course 同校
28日(日)	ビンズン部会フットサル大会	ビンズン新都市
29日(月)	スポーツ・文化委員会	JCCH
30日(火)	労務委員会主催「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」 ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)の懇親会	JCCH + WEB えびす番外

2025年10月

1日(水)	北陸経済連合会へのレクチャー ホーチミン市建設・建材協会(SACA)主催 「Vietnam Interior & Build Expo 2025(VIBE)」開会式	JCCH SECC
2日(木)	組織・規約委員会	JCCH
3日(金)	ビンズン部会講演会・見学ツアー	ビンズン新都市
4日(土)	イオン・タンアン店 オープニングセレモニー 社会貢献委員会子ども支援:Thien Phuoc社会福祉施設	同施設 同施設
5日(日)	運輸部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
6日(月)	熊本高等専門学校との面談 広報委員会	JCCH JCCH
7日(火)	第1回税制セミナー 税務・通関委員会 労務委員会主催「ホーチミン市内務局労働許可証に関するセミナー」	WEB 和桜 Kim Do - Royal Hotel Saigon + WEB
8日(水)	ドンナイ部会会員企業訪問 台湾国慶節レセプション	ミツバベトナム ホテルニッコーサイゴン
9日(木)	在越ドイツ商工会主催「Oktoberfest 2025」オープニングセレモニー	ホテルニッコーサイゴン
10日(金)	在越スペイン商工会主催「La Spanish Fiesta 2025」	Capella Gallery Hall
11日(土)	JCCH運動会2025リハーサル、予選会	ホーチミン日本人学校
12日(日)	JCCH運動会2025 在越台湾商工会・ドイツ商工会とのミーティング	ホーチミン日本人学校 WEB
13日(月)	執行役員会 ビジネスマンデーを祝うタイニン省企業との会合	JCCH 同省人民委員会庁舎
15日(水)	ロンアン部会 在越台湾商工会(CTCVN)・ドイツ商工会(GBA)会員企業との商談会・交流会 日越共同イニシアティブ委員会	JCCH + 鳥てつ ホテルニッコーサイゴン JCCI + WEB
16日(木)	理事会 クアンチ省投資・貿易・観光促進センター(IPA)との面談 日米欧韓4会議所協議	パレスホテル JCCH EuroCham + WEB
17日(金)	VJCC 日本式経営研修「経営塾」参加ベトナム企業とJCCH会員企業とのビジネス交流会 第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険4部合同ゴルフ懇親会	Victory Hotel Saigon タンソンニャットゴルフ場
18日(土)	島根県土木部、土木産業事業者(島根県建設産業ミッションベトナム視察)との懇親会 ASEAN 日本人商工会議所連合会(FJCCIA)事務局長会議	Windsor Plaza Hotel シンガポール
19日(日)	バリアブントウ、ロンアン2部会合同懇親ゴルフコンパ 岸和田商工会議所議員視察団へのレクチャー	Vietnam Golf & Country Club JCCH
20日(月)	生活環境委員会 在越日欧米韓4会議所会議	JCCH WEB
22日(水)	愛媛県産業政策課との面談	JCCH
23日(木)	社会貢献委員会子ども支援:自閉症児ケア施設 Ame House	同施設
23日~25日(木~土)	海外視察団	中国・深圳
24日(金)	ホーチミン市中小企業協会(HCM-SME)発足式	Tan Son Nhat Pavillon
26日(日)	貿易部会ゴルフコンパ	Vietnam Golf & Country Club
28日(火)	日本商工会議所国際部ご来訪 ホーチミン市建設・建材協会(SACA)ご来訪	JCCH JCCH
30日(木)	ドンナイ省日本文化祭 ホーチミン市人民委員会幹部とFDI企業との対話会合	ドンナイ省図書館 同庁舎

2025年11月

2日(日)	社会貢献委員会主催「第1回チャリティフリーマーケット」	SORA Garden
3日(月)	富士フィルム健診施設NURAホーチミン開所式	タオディエンパール
4日(火)	日本大学ご来訪	JCCH
7日(金)	CEOクラブとの夕食交流会	レバリーサイゴンホテル
	JINSベトナムプレオープンイベント	同店
8日(土)	イオンMIDORI PARK SQUARE植樹祭	同施設
	在越インド商工会「2025ディワリ祭」	シェラトンサイゴン
10日(月)	Annual Vietnam Business Forum 2025	ハノイ
11日(火)	日本化学工業協会(日化協・JCIA)共催 「日本の化学産業やASEAN及びベトナムの化学品規制に関する最新動向セミナー」	JCCH + WEB
12日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	第2回税制セミナー	WEB
14日(金)	情報技術開発株式会社へのレクチャー	ロッテホテルサイゴン
	ミュージカル「アニオー姫」製作発表レセプション	在ベトナム日本大使館
17日(月)	執行役員会	JCCH + WEB
18日(火)	事業環境委員会	JCCH
	カマウ省投資、貿易、観光促進セミナー	REX Hotel
19日(水)	生活環境委員会主催「生活情報セミナー」	ホテルニッコー サイゴン
	タントアン・リンチュン部会	TTC
	プレラウンドテーブル・税務チーム	ITPC
	プレラウンドテーブル・通関チーム	ITPC
	プレラウンドテーブル・生活環境チーム	ITPC
	プレラウンドテーブル・法務労務チーム	ITPC
20日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
	在越フランス商工会との合同イベント	フランス総領事公邸
21日(金)	ドンナイ省で開催「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」	The Mira Central Park Hotel
	三重交通株式会社へのレクチャー	OPUS SAIGON
22日(土)	在越ドイツ商工会(GBA)30周年式典	Landmark 81
	IT部会2025年フットサル大会	Chao Lua Futsal Stadium
23日(日)	ビンズン部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
25日(火)	ガソリン車規制に関する意見交換会	JCCH + WEB
	運輸部会	鈴の屋
26日(水)	金融・保険、ホーチミン市部会合同部会	Liberty Central Saigon Citypoint
	2025年ホーチミン市経済フォーラム	Thiskyhall Sala Convention Center
27日(木)	貿易、第一サービス、第二サービス部会合同部会	オーシャンパレス
	建設部会	WEB + BELGO
	IT部会	サイゴンホテル
	海外子女教育振興財団との打ち合わせ	WEB
28日(金)	内山ベトナム25周年記念式典	同社
29日(土)	社会貢献委員会子ども支援: DON BOSCO Can Gio社会福祉施設	同施設
30日(日)	ホーチミン市部会懇親ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort

2025年12月

1日(月)	スポーツ・文化委員会	JCCH
	第3回税制セミナー	WEB
2日(火)	組織・規約委員会	JCCH
	川崎市産業振興財団との面会	JCCH
	建設部会主催「日本人学校現場視察会」	同校
3日(水)	広報委員会	JCCH
	加計学園懇談会	ホテルニッコーサイゴン
5日(金)	Explore Gifu Sake 2025	総領事公邸
6日(土)	ホーチミン市テクノロジー大学(HUTECH)附属越日工業大学(VJIT)卒業記念式典	同校
7日(日)	JCCHドッジボール大会	ホーチミン日本人学校
8日(月)	福山平成大学へのレクチャー	JCCH
	労務委員会	JCCH + WEB
9日(火)	事業環境委員会	WEB
	IGARASHI VIETNAM冷蔵倉庫地鎮祭	同社
10日(水)	ロンアン部会	JCCH + イルコルダ
	日米欧韓4会議所会頭会議	ベトナム三菱商事
11日(木)	IT部会賃金調査報告会	STIX
12日(金)	ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(本番)	レックスホテル
	ピンズン部会忘年会	Phuong Nam Resort
14日(日)	社会貢献委員会バリアンタウ省 ロンディエンビーチ清掃活動	バリアンタウ省
15日(月)	執行役員会	JCCH
	早稲田大学へのレクチャー	JCCH
16日(火)	社会貢献委員会	ホテルニッコーサイゴン
17日(水)	タントアン・リンチュン部会忘年会	洒らく
18日(木)	理事会	パレスホテル
	ホーチミン日本人学校校舎増築工事竣工式	同校
19日(金)	バリアンタウ部会	フーミー3工業団地
	ドンナイ部会	ホテルニッコーサイゴン
20日(土)	社会貢献委員会子ども支援:Binh Duong Volunteering Class児童養護施設	同施設
	建設・運輸部会合同ボウリング大会	MEGA BOWL VIETNAM
24日(水)	ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)新所長ご来訪	JCCH

2026年1月

	社会貢献委員会日本語支援 日系企業見学・日本語交流会	エースコックベトナム
8日(木)	労務委員会	JCCH
	スポーツ・文化委員会	双日ベトナム
	在越韓国商工会(KOCHAM)新年会	ホテルニッコーサイゴン
10日(土)	社会貢献委員会子ども支援:Tam Binh児童保護センター	同施設
12日(月)	りそな銀行ホーチミン駐在員事務所開所10周年記念式典	ホテルニッコーサイゴン
13日(火)	JCCH新年会	ホテルニッコーサイゴン
	愛媛県レストランフェア	FUME
14日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	組織・規約委員会	Secret Wines
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
15日(木)	ドンナイ省税務局主催「2024年度納税優良企業表彰式」	同庁舎
	Blue Sky Travel社忘年会	Landmark 81
16日(金)	ホーチミン市各国友好組織連合会(HUFO)主催「友好交流会」	Friendship Tower
18日(日)	運輸部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
19日(月)	執行役員会	JCCH
	在越英国総領事館主催 Roundtable luncheon on CPTPP	Sofitel Saigon Plaza
	第4回税制セミナー	WEB
20日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
	金融・保険部会工場見学会・新年会	エースコックベトナム
21日(水)	運輸、第一サービス、IT部会合同部会	WEB
22日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
23日(金)	2025年度ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルフィードバックセミナー	ホテルニッコーサイゴン + WEB
	在ホーチミン日本国総領事館主催 天皇誕生日レセプション	ホテルニッコーサイゴン
27日(火)	ドンナイ省人民委員会へのテト挨拶	同庁舎
	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)主催 2025年貿易・投資促進活動総括会議	Hotel Majestic Saigon

28日(水)	第2地域税関支局主催 新法令及び輸送手段管理ソフトウェアに関する説明会	同庁舎
	ホーチミン市税務局との面談	同庁舎
	VinaCapital社との会食	Robata Kiyota
29日(木)	日本政策金融公庫共催 第1回「ホーチミン日系企業ビジネス商談会」	ニューワールドサイゴンホテル
	貿易部会	ベトナム住友商事 + 酒らく
	建設部会	ホテルニッコーサイゴン
	ホーチミン市部会	WEB + Dalcheeni
30日(金)	ベトナム保健省副大臣へのテト挨拶	ハノイ
	AGRIEX社第2工場竣工式	ラムドン省
31日(土)	社会貢献委員会日本語支援:ホーチミン市中高生日本語スピーチコンテスト	レホンフォン高校

2026年2月

2日(月)	ホーチミン市テクノロジー大学(HUTECH)ご来訪	JCCH
	第5回税制セミナー	WEB
3日(火)	広報委員会	JCCH
	オリンパスベトナム社新工場プロジェクトキックオフセレモニー	同社
4日(水)	ホーチミン市人民委員会へのテト挨拶・表敬訪問	同庁舎
	第2回ベトナム新規赴任者向け交流会	ホテルニッコーサイゴン
	労務委員会主催「第2回ベトナム労働法セミナー」	JCCH + WEB
5日(木)	ドンナイ省2026年FDI会合	The Mira Central Park Hotel
	ホーチミン市人民委員会主催「2026年企業・投資家との会合」	同庁舎
7日(土)	ASEAN日本人商工会議所連合会(FJCCIA)事務局長会議	カンボジア
	IT部会ゴルフコンペ	Long Thanh Golf Club
9日(月)	ホーチミン市人民委員会主催「在ホーチミン外交団体との懇談会」	同庁舎
10日(火)	ベトナム法務省主催 食品安全法(改正)政策に関する意見聴取会	ハノイ + WEB
	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)へのテト挨拶	ITPC
	日本商工会議所(日本メコン地域経済委員会)ミッション団との夕食懇談会	天空
	ハノイ日本人学校との面談	WEB
	日本商工会議所ベトナム視察団との夕食会	あぶりや
11日(水)	ホーチミン市内務局へのテト挨拶	同庁舎
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
24日(火)	執行役員会	JCCH
25日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
26日(木)	理事会	パレスホテル
	第2回新規加入企業とJCCH役員・理事との交流会	パレスホテル
	ホーチミン市電気電子機械協会(HAMEE)役員によるテト挨拶	JCCH
27日(金)	労務委員会	JCCH + WEB
	スポーツ・文化委員会	ホテルニッコーサイゴン
	ビンズン部会	Song Be Golf Resort

2026年3月

1日(日)	社会貢献委員会ラムドン省 タンハイビーチ清掃活動	ラムドン省
2日(月)	タイニン省人民委員会へのテト挨拶・表敬訪問	同庁舎
3日(火)	ノートルダム清心女子大学へのレクチャー	JCCH
	日本環境省との会食	マンダリン
4日(水)	第2回ふらっとJCCH	Pizza 4P's
	JETROバンコク所長との面会	ベトナム三菱商事
5日(木)	事業環境委員会	WEB
	徳島県庁主催「徳島フェア」	天空
	組織・規約委員会	菓膳
6日(金)	生活環境委員会	JCCH
	島田外務大臣政務官との昼食会	ホテルニッコーサイゴン
	第11回ジャパンベトナムフェスティバル・開会記念フォーラム	Hotel Majestic Saigon
	第11回ジャパンベトナムフェスティバル・レセプション	Hotel Majestic Saigon
7日~8日(土~日)	第11回ジャパンベトナムフェスティバル	9月23日公園
7日(土)	JCCH日本語カラオケ大会	9月23日公園
	日越友好平和ぼんおどり大会	9月23日公園
	社会貢献委員会主催「第2回チャリティフリーマーケット」	9月23日公園
8日(日)	ホーチミン市部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
	日本人学校卒業証書授与式	同校
9日(月)	日本経済団体連合会とのミーティング	WEB
	日本貿易振興機構(JETRO)平野理事との夕食懇談会	USSINA
10日(火)	日米欧韓4会議所協議	ニューワールドホテルサイゴン + WEB
	企業交流委員会	ホテルニッコーサイゴン
11日(水)	広報委員会	JCCH
	ロンアン部会	JCCH + Robata An
12日(木)	貿易部会	ホテルニッコーサイゴン
	建設部会	ホテルニッコーサイゴン
	東京都中小企業振興公社ご来訪	JCCH
13日(金)	スポーツ・文化委員会	Roll & Teppan Ineya
	静岡県平木副知事との面会	JETRO
16日(月)	2025年度・2026年度合同執行役員会	JCCH
17日(火)	社会貢献委員会	総領事公邸
	バリアブントウ部会キャンティーン巡り	Vietnam Rare Elements Chemical
	バリアブントウ部会工場見学	大塚ニュートラシューティカルベトナム
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
18日(水)	国際金融情報センター(JCIF)ご来訪	JCCH
	部会長会	ホテルニッコーサイゴン
	理事会	ホテルニッコーサイゴン
	2025年度・2026年度理事会合同懇親会	ホテルニッコーサイゴン
	The TEN2 起工式	ビンズン新都市
20日(金)	第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険、ホーチミン市部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン
	ドンナイ部会	The River Oriental
21日(土)	ホーチミン市師範大学の学生との日本語交流会	同校
	チン首相と日系企業との対話集会	ハノイ
22日(日)	貿易部会ゴルフコンパ	Vietnam Golf & Country Club
	運輸部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
	ビンズン部会ゴルフコンパ	Song Be Golf Resort
24日(火)	運輸部会	ホテルニッコーサイゴン
	JETROホーチミン事務所主催 ウェブセミナー 「ベトナムにおける輸出加工企業(EPE)から非EPEへの転換に係る手続き、注意点」	WEB
26日(木)	税務・通関委員会	絆寿司
27日(金)	ベトナム税関局主催「税関法を一部改正・補足する改正法に関する意見聴取会」	Kim Do - Royal Hotel Saigon
	タイニン省人民委員会主催「2026年第1回FDI企業との会合」	同庁舎
29日(日)	「TOKYO GIRLS COLLECTION VIETNAM 2026」	Van Phuc City

役員・委員一覧（2026年3月時点）

会頭	久米 邦英 (ベトナム三菱商事)
副会頭	松本 暢之(～2025年7月) 岡部 光利(2025年8月～) (JETRO ホーチミン事務所)
	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所)
	小野瀬 貴久 (EYベトナム)
	岩本 英久 (東京海上ベトナム)
監事	小熊 俊弘 (みずほ銀行)
事務局長	上田 真也 (大阪商工会議所)

委員会名	委員長	副委員長	委員
事業環境委員会	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所)	小野瀬 貴久 (EYベトナム)	南良 勉 (ベトナム味の素) 高見 尚代 (イオンデライトベトナム) 東 伸明 (野村不動産ベトナム) 小川 恵理 (在ホーチミン日本国総領事館) 笠島 信幸 (JETRO ホーチミン事務所) 佐藤 啓 (三菱UFJ銀行) 増田 華子 (大和ハウスベトナム) 盛川 大輔 (REAZON CAPITAL) 小柏 卓也 (長島・大野・常松法律事務所)
労務委員会	南良 勉 (ベトナム味の素)	中川 幹久 (長島・大野・常松法律事務所)	小野瀬 貴久 (EYベトナム) 大矢 和秀 (西村あさひ法律事務所) 三木 康史 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所) 川崎 美奈子 (JETRO ホーチミン事務所) 新田 和男 (オリンパスベトナム) 今井 裕 (サイゴンプレジジョン) 渡邊 篤志 (JFEスチールベトナム) 川口 朋典 (小田ベトナム) 里村 知則 (ベトナムスペシャリティガス) 岸 政司人 (三正工業ベトナム) 児玉 圭太 (VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL) 久保田 孝幸 (ベトナム味の素)
税務・通関委員会	小野瀬 貴久 (EYベトナム)	渡邊 洋平 (ドラゴンロジスティクス)	水野 和義 (郵船ロジスティクスベトナム ホーチミン支店) 廣田 弘毅 (山九ベトナム) 星谷 亮一 (NXベトナム) 新田 和葉 (JETRO ホーチミン事務所) 高田 真 (エスコンサルティングベトナム) 鶴田 明久 (AGS ACCOUNTING) 古屋 秀規 (KPMG) 渡邊 哲史 (EYベトナム) 仁科 仁 (GRANT THORNTON VIETNAM) 杉本 有里 (PwCベトナム) 大和 正幸 (SG佐川ベトナム)
生活環境委員会	高見 尚代 (イオンデライトベトナム)	砂金 智之 (双日ベトナム) 村田 雄一 (ホテルニッコーサイゴン)	小林 南奈 (ホテルニッコーサイゴン) 佐藤 浩一 (在ホーチミン日本国総領事館) 本多 智恵 (ロジテムベトナムサウスサービス) 檜垣 柚 (AABベトナム) 浅川 郁文 (NNAベトナム)

(順不同)

委員会名	委員長	副委員長	委員
社会貢献委員会	白井 勝彦 (サッポロベトナム)	永井 七奈 (マネーフォワードベトナム)	牛見 晴香 (ウェルビーベトナム) 高橋 理恵 (アビームコンサルティング) 蜂須賀 真希子 (国際交流基金 ベトナム日本文化交流センター) グエン ブイ スアン アイン (国際交流基金 ベトナム日本文化交流センター) 弓岡 美菜 (在ホーチミン日本国総領事館) 小嶋 洋史 (サッポロベトナム) 上出 裕也 (三井住友銀行) 木下 真吾 (三菱UFJ銀行) ヴートゥン ラン チー (三菱UFJ銀行) 大森 慎也 (インターフード) 古屋 秀規 (KPMG) 角野 美月 (ベトナム岩谷) 加藤 真希 (全日本空輸) ダウ ティー ジェム ハン (全日本空輸) 石原 弘之 (パーソルベトナム) レ ティエン ヴァン (マネーフォワードベトナム) バン ヴァン ロイ (損害保険ジャパン) 伴 遥奈(～2025年12月) (双日ベトナム)
スポーツ・文化委員会	砂金 智之 (双日ベトナム)	小野瀬 貴久 (EYベトナム)	昆野 諒介 (EYベトナム) 沼田 翔 (インターフード) 檜垣 柚 (AABベトナム) 大内 美城(2025年8月～) (AABベトナム) 宮浜 健一 (エスファイブサイゴン) 山口 晋平 (キュービーベトナム) 中村 昭広 (セコムベトナム) 堀江 勇輝 (東京海上ベトナム) 木村 奈々子 (日鉄物産ベトナム) 新井 咲里(～2025年7月) (日本ベトナム肥料) 福山 健太郎 (みずほ銀行) 大橋 賢尚 (三井住友銀行) 松原 洋輔 (三菱UFJ銀行) 中島 彰 (三菱UFJ銀行) 斎藤 美和(～2025年12月) (ウェルビーベトナム) 杉岡 玲(2026年1月～) (ウェルビーベトナム) 高原 みずず(2025年8月～) (MLC ITL LOGISTICS) 中山 慎一郎 (双日ベトナム) 日比 雄一郎 (双日ベトナム) 恩田 大輝 (双日ベトナム)
日本人学校運営委員会	大木 直伸 (ベトナム住友商事)	平田 周二 (ベカメックス東急)	川上 裕明 (ホーチミン日本人学校 校長) 堀内 麻里 (ホーチミン日本人学校 PTA会長) 厚川 正人 (双日ベトナム) 三輪 佳彦 (ベトナム三菱商事) 佐藤 啓 (三菱UFJ銀行) 小林 功典 (安藤・間 ホーチミン駐在員事務所) 山内 啓子 (全日本空輸)

(順不同)

委員会名	委員長	副委員長	委員
企業交流 委員会	加賀本 崇至 (三菱地所ベトナム)	工藤 拓人 (CastGlobal Law Vietnam)	松本 暢之(～2025年7月) (JETRO ホーチミン事務所) 岡部 光利(2025年8月～) (JETRO ホーチミン事務所) 鈴木 杏里紗(～2025年12月) (NNAベトナム) 監物 秀樹 (ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)) 加藤 真希 (全日本空輸) 横井 仁和 (サッポロベトナム) 井中 冴香 (アイコニック) 平津 拓郎 (みずほ銀行) 村田 雄一 (ホテルニッコーサイゴン) 小林 南奈 (ホテルニッコーサイゴン) 久野 哲也 (損害保険ジャパン) 田中 飛鳥 (大気社ベトナム) 井本 健太 (デロイトベトナム)
広報委員会	岩本 英久 (東京海上ベトナム)	金山 純 (三谷産業 ホーチミン駐在員事務所)	渡辺 顕恵 (弘亜社ベトナム) 櫻井 岳幸 (バイタリフィアジア) 福田 賀優 (オロベトナム) 坂本 隆太 (サクラエコロジー) 宮地 織恵 (在ホーチミン日本国総領事館) 豊永 厚暢 (博報堂ベトナム) 吉岡 裕太 (ベクトルグループ) 中川 義史 (電通ベトナム)
組織・規約 委員会	唐澤 雅幸 (JICAベトナム事務所 ホーチミン出張所)	岡田 英之 (TMI総合法律事務所) 荒井 泰資 (ベトナム日本製鉄)	水上 貴博 (第一生命ベトナム) 須藤 理夫(2025年8月～) (フォーバルベトナム) 木下 慎吾(2025年8月～) (三菱UFJ銀行)

(順不同)

部会理事一覧（2026年3月時点）

商工部会	理事 定数	部会長	副部会長	理事
貿易部会	5	江利川 聡彦 (豊田通商ベトナム)	大木 直伸 (ベトナム住友商事)	砂金 智之 (双日ベトナム) 山崎 安則 (日鉄物産ベトナム) 佐久間 功造 (蝶理ベトナム)
建設部会	4	吉野 友隆 (大成建設 ベトナム連絡所)	宮崎 真次 (大成温調ベトナム)	喜多 美佐子 (オカムラベトナム) 鬼頭 和裕 (~2025年12月) (鴻池組 ホーチミン駐在員事務所) 矢野 敦 (2026年1月~) (鴻池組 ホーチミン駐在員事務所)
運輸部会	3	今津 麗 (ロジテムベトナム)	大和 正幸 (SG佐川ベトナム)	宮城 孝浩 (日本航空)
第一サービス部会	4	古川 直正 (ブレインベトナムサービス)	工藤 拓人 (CastGlobal Law Vietnam)	横山 和寿 (横山会計ベトナム) 山本 幸治 (2025年9月~) (G.A.コンサルタンツベトナム)
第二サービス部会	3	中村 正樹 (東急ディベロップメント)	市岡 宗芳 (ALSOKベトナムセキュリティサービス)	藤田 清 (JTB-TNT)
IT部会	4	寺田 大典 (ラグスベトナム)	井本 英一 (KDDIベトナム)	濱谷 直人 (NECベトナム) グエン タント (システムエグゼベトナム)
金融・保険部会	3	田村 将史 (損害保険ジャパン)	服部 京祐 (三井住友銀行)	成田 力 (ジャックスインターナショナル ベトナムファイナンス)
ホーチミン市部会	4	西隈 隆 (三菱電機ベトナム)	吉崎 脩平 (出光興産 ホーチミン鉱業所)	渡邊 篤志 (JFEスチールベトナム) 坂野 慎後 (~2025年9月) (富士フイルムビジネ スイノベーションベトナム) 原田 諭 (2025年10月~) (富士フイルムビジネ スイノベーションベトナム)
タントアン・リンチュン 部会	3	廣部 正雄 (古河オートモーティブパーツ)	今井 裕 (サイゴンプレジジョン)	杉原 洋次 (~2025年7月) (JUKIベトナム) 石島 正典 (2025年8月~) (JUKIベトナム)
ビンズン部会	5	長戸 隆彦 (ベカメックス東急)	酒匂 孝教 (~2025年7月) (キングジムベトナム) 川口 朋典 (~2025年7月まで理事、2025年8月~から副部会長) (小田ベトナム)	松永 健 (2025年8月~) (キングジムベトナム) 白子 修 (~2025年6月) (トーモクベトナム) 高嶋 昭史 (2025年7月~) (トーモクベトナム) 谷 直樹 (~2025年12月) (豊通セーフティアンドオート モーティブコンポーネンツベトナム) 梶井 竜喜 (2026年1月~) (フジクラファイバーオプティクスベトナム)
ドンナイ部会	5	小谷 昇司 (ベトナムNOK)	片桐 晴一 (ミツバベトナム)	太田 真志 (旭東ベトナム) 越本 勇一 (M2グロウupartナーズ) 岸 政司人 (三正工業ベトナム)
ロンアン部会	2	畑中 周 (~2025年12月) (ピナエコボード) 早川 雅納 (2026年1月~) (ピナエコボード)	中隈 弘 (ベンカンベトナム)	
バリアブントウ部会	2	橋本 泰助 (オーゾートレーディングベトナム)	津田 清昭 (サイゴンペーパー)	

(順不同)



ホーチミン日本商工会議所

住 所 : 1407 Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue,
Saigon Ward, HCMC, Vietnam

電 話 : (84) 028-3821-9369

ファックス : (84) 028-3821-9370

業務時間 : 月曜日～金曜日 8:30～12:00, 13:30～17:00

休 日 : 土曜日、日曜日、ベトナム国の定める祝日、12月29日～1月3日

E-mail : info@jcchvn.org(日本語、英語、ベトナム語可)

Website : <https://jcchvn.org/>

Facebook : <https://www.facebook.com/JCCH.ORG/>



JCCHホームページ



JCCHフェイスブック

